

創立40周年記念誌

1965-2005



社会福祉法人 太陽の家

CONTENTS

基本理念	1
全国に広がる太陽の家	2
挨拶 太陽の家 理事長 畑田 和男	3
祝辞 厚生労働大臣 尾辻 秀久氏	4
大分県知事 広瀬 勝貞氏	5
別府市長 浜田 博氏	6
評論家 秋山ちえ子氏	7
韓国聖再園代表理事 朴 二英氏	8
創設者 中村裕博士	10
太陽の家 40年のあゆみ	11
資料編	
施設一覧	24
現在の役員	25
歴代役員	26
主な補助金	29
見学者数	32
授産施設から社会復帰した人数	33
事業種目の変遷	34
共同出資会社一覧	36
給与・工賃支給実績	37
在籍者推移	38
障害者人員推移	40
大分国際車いすマラソン大会参加状況	42
全国障害者スポーツ大会参加状況	43
パラリンピック夏季大会参加状況	44
フェスピック大会参加状況	46
主な国際スポーツ大会参加状況	48
むぎの会	49
主な研究開発の概要	50
研究紀要発行	51
編集後記	52

基本理念

世に身心障害者(児)はあっても、仕事に障害はあり得ない。

No one is so disabled as to be unable to work at all.

保護より機会を!

No charity, but a chance!



麦にはきびしさがあります
麦は踏まれても踏まれても
ぐんぐん成長します
太陽に向かって
のびつづける
麦の形には団結を
意味するものがあります

全国に広がる太陽の家



別府本部

〒874-0011 大分県別府市亀川1393番地
TEL(0977)66-0277 FAX(0977)67-0453
URL <http://www.taiyonoie.or.jp>



サン・コミュニティ・大神

〒879-1504 大分県速見郡日出町大神1402-6
TEL(0977)72-1665 FAX(0977)72-1519

愛知事業本部

〒443-0103 愛知県蒲郡市形原町北浜28-1
TEL(0533)57-1611 FAX(0533)57-1606
URL <http://www.aichi-taiyonoie.co.jp>



京都事業本部

〒601-8155 京都市南区上鳥羽塔ノ森上河原37-2
TEL(075)681-1380 FAX(075)681-1473



創立40周年にあたって



理事長

畑 田 和 男

太陽の家は1965年(昭和40年)10月5日別府市亀川に創立しました。小雨降る中、15人の障害者や職員の皆さんと門出をお祝いした日を思い出します。当時は建物も設備も十分に整っておらず、仕事も義肢装具や木工など5つの小さな作業場でしたが、障害者の皆さんは仕事を果たす喜びや希望にあふれ、また、そのような姿が誇らしく故中村博士とともに嬉しく思いました。

あれから40年、太陽の家は「世に身心障害者はあっても仕事に障害はあり得ない」「保護より機会を」と訴えてまいりました。現在では、別府を本部に愛知太陽の家、京都太陽の家、サン・コミュニティ・大神と事業所を拡大し、障害者1,100人、健常者500人の合計1,600人を超える皆さんが働き、生活しています。この間、幾多の困難もありましたが、今日を迎えることができました。

これもひとえに、長年にわたってご支援いただいている企業や関係の皆さま方のご理解とご協力の賜と深く御礼申し上げます。また、障害者の皆さんの努力が結実した結果と心より敬意を表します。

近年、製造業では中国や東南アジアで現地調達をしており、また長年にわたる経済不況で当法人の授産場や共同出資会社はその影響を受けています。加えて、授産従業員の障害は重度化の傾向にあり、また加齢による重度化も重なって、残念なことに施設利用者の職能は低下しており、授産場においてはニーズに応じた十分な作業の確保が困難になっています。特に1995年(平成7年)の創立30周年以降は、その傾向が顕著になり大変厳しい時代となりました。また、福祉制度は大きな変革期を迎え、2003年(平成15年)には措置費から支援費に制度が移行しました。同時に、当法人では授産施設の体系の再編成を図るとともに、身体障害者療護施設ゆうわにおいて在宅障害者や高齢者のための在宅サービス事業を開始しました。近々、障害者自立支援法も施行されて、施設体系の見直しが行われるとともに、施設から地域への流れは加速されるでしょう。太陽の家も在宅障害者の支援を中心に新たな事業の展開を図っています。

そして、理念とする障害者の自立に向けて、大きな転換期にある障害者保健福祉サービスの変化に耐えうる環境を整備し、かつ柔軟に対応していかなければなりません。

創立40周年にあたり、草創の理念に思いをいたし、この厳しい時代を乗り越えるために、英知を集積してまいりたいと存じます。これまで、当法人を支え続けていただいた企業や行政をはじめ関係の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

創立40周年をお祝いして



厚生労働大臣
尾 辻 秀 久

社会福祉法人太陽の家が創立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

太陽の家は、昭和40年に創設されて以来、創設者である故中村裕博士や後を引き継がれた畑田和男理事長の下、法人関係者、職員の皆様が一丸となって、障害のある方々の働く場の確保に努めるとともに、障害者スポーツへの取り組みなどを通じて障害のある方々の社会参加の推進に邁進してこられました。

今日では、多くの企業との連携や作業環境の改善等により、障害のある方々がその能力を十分に発揮しながら働ける場として全国有数の地位を確立し、障害のある方約1,100人、障害のない方も合わせると約1,600人以上の方がともに働き、充実した日々を過ごしておられます。

また、故中村裕博士が開催に御尽力されたフェスピック、大分国際車いすマラソン大会は、多くの関係者の協力により、極東・南太平洋地域の一大スポーツイベントになり、また、各国のトップクラスのランナーが「大分」の制覇を目標とする大会になるなど我が国の障害者スポーツ発展のための先導的な役割を果たしておられます。

関係者の皆様のこれまでの御尽力に、心より感謝申し上げますとともに、深く敬意を表するものであります。

さて、近年、我が国におきましては、これまでの社会保障制度が前提としてきた諸条件が大きく変わりつつあり、このような環境の変化に対応して、我が国の社会保障を将来にわたって持続可能で安定的なものとしていくための改革が重要な課題となっております。

障害保健福祉の分野におきましても、「障害者自立支援法案」を今国会に提出し、「自立と共生の地域社会づくり」をテーマに障害のある方々の地域生活支援を推進し、障害のある方もない方も、互いに支え合い、地域で豊かに暮らしていける社会を目指した改革に取り組んでおりますが、まさにそれを実践してこられた太陽の家に寄せられる期待は、さらに大きくなると思われますので、今後とも障害のある方々の就労、社会参加の推進に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

最後に、太陽の家の今後益々の御発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

太陽の家創立40周年を祝して



大分県知事
広瀬 勝 貞

社会福祉法人「太陽の家」の創立40周年を心からお喜び申し上げます。

昭和40年、「障害者に保護より働く機会を」、「世に身心障害者(児)はあっても仕事に障害はあり得ない」という、故中村裕博士の理念の下に創立された社会福祉法人「太陽の家」は、昭和41年に身体障害者授産施設を皮切りに、日本初の福祉工場を設立するなど、多くの協力企業の支援を得て、障害者の働く場づくり、障害者が安心して楽しく暮らせる環境づくりに努められ、わが国の障害者福祉の先駆的役割を果たしてこられました。また、昭和50年に第1回極東・南太平洋身体障害者スポーツ(フェスピック)大会を開催するなど、アジア太平洋地域の障害者福祉の向上にも多大な貢献をされておられ、ここに深く敬意を表します。

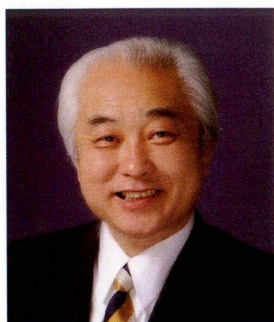
一方、故中村裕博士の提案で始められた全国初の「身体障害者体育大会」や、毎秋、大分市で開催される「大分国際車いすマラソン大会」につきましても、多大なご協力と競技への積極的な参加をいただいております。心より感謝申し上げます。

本県におきましては「安心・活力・発展」を基本理念として、県民中心の県政を推進しており、障害者の施策については障害者が安心して自立し、積極的に社会参加できる環境づくりが大変重要であると考えています。

障害のあるなしを越えて、誰もが個性と人格を尊重し、支え合って暮らしていける「共生社会」の実現を目指して、福祉サービスの充実や障害者も参加する文化、スポーツの振興、バリアフリーのまちづくりなど、総合的な取り組みを今後とも引き続き推進してまいりますので、社会福祉法人「太陽の家」におかれましても、創立40周年を契機に障害者福祉の先駆者として、一層のご尽力をお願い申し上げます。

最後に、社会福祉法人「太陽の家」の今後ますますのご発展と関係者の皆様のご健勝を祈念し、祝辞といたします。

創立40周年記念祝辞



別府市長
浜田 博

社会福祉法人「太陽の家」が創立40周年を迎えられますことは、別府市民にとりまして誠に慶びに堪えない次第であります。

この「太陽の家」は昭和40年に故中村裕博士により開所されて以来、着々と施設を拡充され、現在では九州はもとより全国でも屈指の障害者総合施設となってまいりました。

これも太陽の家の特徴でもあります共同出資会社を設立し、企業が生産技術や運営・管理を、太陽の家が健康管理や日常生活などを支援するというユニークなシステムを採用されておられ、こうした成果は、ひとえに関係者の皆様のご努力とご尽力の賜物と深く感謝を申し上げますとともに、衷心より敬意を表するものであります。

また、授産施設では入所、通所されました数多くの身体障害者の方々を親身に介護やりハビリすることは勿論のこと、精神的にも障害の受容から自立までサポートし、家庭的な雰囲気の中で明るく楽しい生活が出来るような様は、真に福祉施設の鑑といわざるを得ません。

さらに、福祉工場でも職場や住宅の設備・構造上の不備のため一般企業に雇用されることの困難な身体障害者に、生きがいのある社会生活を営むことが出来るように支援されております。

また、スポーツにも積極的に取り組まれており、大分県などが主催している大分国際車いすマラソンをはじめとして、重度障害者によりますツインバスケットボールは、全国レベルの方々を輩出され障害スポーツの振興や障害福祉の発展に寄与されております。

別府市といたしましても、「ノーマライゼーション」の理念のもと、障害者の皆様方お一人、おひとりが持てる能力を最大限発揮し、家庭や地域で安心した生活が送られますよう国、県、福祉団体等と密接な連携を図りながら、より一層努力してまいる所存でございます。

終わりに、社会福祉法人「太陽の家」が今後益々繁栄し、発展されますよう心より祈念申し上げますとともに、身体障害者皆様の福祉の向上に、更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。創立40周年をお祝い申し上げます。

心からのお礼とお願い



評論家

秋山 ちえ子

「太陽の家」が「社会福祉法人」となって40周年、感無量です。

心から「おめでとう、ありがとうございます。本当によくおやりになりました」とお礼とお祝いを申し上げます。

私は四十数年前に中村裕先生の身障者に対する考え方をおききして目をさまされた思いになりました。イギリスのストーク・マンデビル病院の留学から帰られた先生は、自信たっぷりのにこにこ顔で云われました。

障害があっても人間であることに変わりはない。自立、仕事、教育、結婚、スポーツ、レジャー、喜びも悲しみも悩みも皆同じという生きることの基本的な考え方でしたが、その中で身障者には「保護より機会を」「働いて税金を払う」といった言葉が印象に残りました。

私はそれ以来、先生のお手伝いをさせていただきました。先生の考えを実行に移すためには役所を始め、各企業に対しての説得、ご理解を得ることが大へんでした。しかし、「太陽の家」の人々は中村先生を中心にしてこの仕事に成功して「ソニー」「ホンダ」「オムロン」等一流の企業の賛同が得られました。

もう一つ「太陽の家」は身障者のスポーツへの参加、「リハビリ」ではなく、競技への参加を増加させました。

アジアの国々の身障者が参加できる「極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会」(フェスピック)を1975年6月1日から3日間、大分と別府両市で開かれ、日本を含めて18か国から750人の身障者の選手が技を競いました。1981年11月1日には「国際障害者年」記念行事として「大分国際車いすマラソン大会」も開催され、この競技会は今も続けられています。

中村裕先生は大いそぎで沢山の良質の種蒔きをされて、1984年7月23日にこの世から逝ってゆかれました。57歳。「若過ぎますよ」と先生のお写真に何回も話しかけました。しかし、残された「太陽の家」の方々、畑田先生、中村太郎先生等々の皆様は見事に先生の蒔かれた種を育てあげてこられました。次々に問題はおこるでしょうが、知恵と力をあわせて乗り切ってください。

88歳の私のお願いは、高齢者への心くばりです。これもよろしく申し上げます。

太陽の家創立40周年を祝して



韓国社会福祉法人 聖再園
代表理事

朴 二 英

太陽の家の創立40周年を心からお祝い申し上げます。

振り返りますと、40年前に大分県の別府市で「世に身心障害者はあっても仕事に障害はありえない」、「保護より働く機会を」を理念としてはじめられた太陽の家は、今日、日本だけでなく、世界に認められた障害者のユートピアを実現されました。

太陽の家には障害があっても働ける職場があります。やり甲斐のある仕事があります。さらにスポーツやレクリエーションを自由に楽しむこともできます。まさに障害者の天国です。これは創立者の故中村裕先生が掲げられた高い理想と推進力の賜物であるのはもちろんですが、それを継承されておられます畑田和男先生、並びに皆様の血と汗と涙の結晶でありましょう。創立40周年のお祝いとともに、そのご努力に対し心から敬意を表します。

当聖再園におきましても、おかげさまで本年3月に創立40周年を迎えることができました。聖再園は太陽の家との交流を1967年より賜っております。思い起こせば1967年に聖再園の設立者の故南認均が秋山ちえこ先生のご紹介で、太陽の家の設立者の故中村先生にお会いすることができました。二人は共に医師として障害者事業に対する信念と情熱に共鳴し、以後ときには励ましあい、ときには協力し合いながら様々な交流を重ねてまいりました。

1968年には聖再園の再活学校(養護学校)の学生10人が太陽の家を訪問させていただきました。1971年には太陽の家から15人が聖再園を訪問されました。1974年には聖再園から4人が太陽の家を訪問し、職業訓練を受けさせていただきました。1975年には再び聖再園より5人が太陽の家に1年間滞在して職業訓練を受け、その滞在中に大分・別府で開催された第1回フェスピック大会に参加することができました。1984年には故中村先生のご招待で、愛知県蒲郡市で開催された第1回国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会に参加することもできました。

1984年、中村先生の突然の訃報には大変なショックを受けましたが、その後も障害者同士、職員同士、さらに中村家と南家は家族同様の付き合いを続けさせていただきました。1988年のソウルパラリンピックには太陽の家のバスケットボールチームが来韓され、韓国で初めての障害者バスケットボール試合を披露されました。

1990年5月18日には日韓両国の障害者福祉の向上発展のため教育、文化、芸術、技術、スポーツなどの各分野にわたって広汎な協力と交流を行うことを目的に、太陽の家と聖再園は正式に姉妹契約を結びました。1995年には太陽の家の30周年に参加させていただきました。また、聖再園の30周年には太陽の家から20人が参加され、本年5月の40周年記念式ならびに故南認均3周忌には、太陽の家の畑田和男理事長様、中村裕記念身体障害者福祉財団の中村廣子理事長様そのほか太陽の家や中村病院からたくさんの方に参加していただき、心から感謝申し上げます。

太陽の家と聖再園は、言葉や国は異なりますが障害者のリハビリにかける情熱や信念は同じであります。中村先生は1984年に世を去られ、南認均も2002年に没しましたが、築き上げた業績を基盤としてその精神を引き継いで発展させることが、残された私どもの使命と考えております。我々はいままで太陽の家の皆様が示された暖かい友情を大切にしながら、これからもお互いに励ましあい協力し合う仲間としてこの世の障害者の幸せのために努力して行きたいと思っております。

末筆ながら、太陽の家が障害者福祉分野のパイオニアとして、これまで積み重ねられたご経験をもとに、さらに繁栄し発展されることを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

태양의 집 창립40주년을 축하하며

한국사회복지법인 성재원
대표이사 박이영

태양의 집 창립 40주년을 축하합니다.

되돌아보면, 40년 전에 오이타 현 벳푸 시에서 「세상에 심신장애인은 있어도 일에 장애는 있을 수 없다」, 「보호보다는 일할 수 있는 기회를」을 이념으로 시작한 태양의 집은 오늘날 일본뿐 아니라 세계에서 인정받는 장애인의 유토피아를 실현하였습니다.

태양의 집에는 장애가 있다 하더라도 일할 수 있는 직장이 있습니다. 보람을 느낄 수 있는 일거리가 있습니다. 나아가 스포츠나 레크리에이션을 자유롭게 즐길 수 있습니다. 그야말로 장애인의 천국입니다. 이는 창립자인 고 나카무라 선생님이 내세운 높은 이상과 추진력의 산물임은 물론 이를 계승하여 하타다 가즈오 선생님을 비롯한 여러분의 피와 땀과 눈물의 결정일 것입니다. 창립 40주년을 축하함과 동시에 그 노력에 대하여 마음으로부터 경의를 표하는 바입니다.

사회복지법인 성재원도 올해 3월에 창립 40주년을 맞이하였습니다. 성재원은 태양의 집과의 교류를 1967년부터 시작하였습니다. 생각해보면 1967년 성재원의 설립자인 고 남시균 이사장이 아키야마 치에코 여사의 소개로 태양의 집 설립자인 고 나카무라 선생님을 만날 수 있었습니다. 두 사람은 같은 의사로서 장애인사업에 대한 신념과 정열에 공감하여 이후 상호간에 때로는 격려하고 때로는 협력해가며 여러 가지 교류를 거듭해 왔습니다.

1968년에는 성재원의 재활학교 학생 10명이 태양의 집을 방문하였습니다. 1971년에는 태양의 집으로부터 15명이 성재원을 방문하였습니다. 1974년에는 성재원으로부터 4명이 태양의 집을 방문하고 직업훈련을 받았습니다. 1975년에는 다시 성재원으로부터 5명이 태양의 집에 1년간 체재하면서 직업훈련을 받고 그 체재기간 중에 오이타 벳푸에서 개최한 제1회 패시픽 대회에 참가할 수 있었습니다. 1984년에는 고 나카무라 선생님의 초대로 아이치 현 가마고리 시에서 개최된 제1회 장애인 레저 레크리에이션 스포츠대회에 참가할 수 있었습니다.

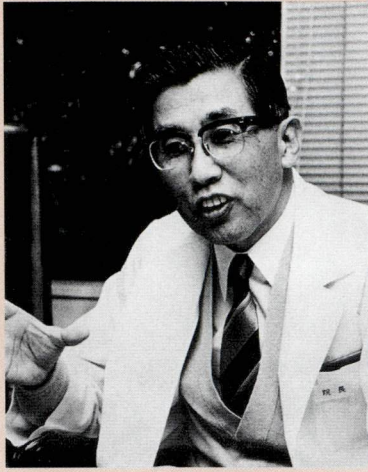
1984년 나카무라 선생님의 돌연한 부음에는 커다란 쇼크를 받았지만 그 후에도 장애인 상호간, 직원 상호간 나아가 나카무라 가와 남 가의 가족 상호간의 관계를 계속하여 왔습니다. 1988년 서울 파라림픽이 개최되기 전에 태양의 집 농구팀이 래한하여 한국최초의 장애인 농구시합 시범이 있었습니다.

1990년 5월 18일에는 일한 양국의 장애인복지의 향상발전을 위해 교육, 문화, 예술, 기술, 스포츠 등 각 분야에 걸친 광범위한 협력과 교류를 목표로 태양의 집과 성재원 사이에 정식으로 자매결연이 체결되었습니다. 1995년에는 태양의 집의 30주년 기념식에 참가하였고 성재원의 30주년기념식에도 태양의 집으로부터 하타다 가즈오 이사장, 나카무라 히로코 나카무라 기념 신체장애인 복지재단 이사장 등 20여명의 사람이 참가하였습니다.

올해 5월의 성재원 40주년 기념식 및 고 남시균 이사장 3주기에도 태양의 집 하타다 가즈오 이사장, 요시마츠 도키요시 오므론 교토 태양주식회사 고문, 나카무라 기념 신체장애인 복지 재단 나카무라 히로코 이사장 과 그 외 태양의 집과 나카무라 병원의 직원들이 참가하여 충심으로 감사드립니다.

태양의 집과 성재원은 언어와 나라는 다르지만 장애인 재활에 대한 정열과 신념은 같다고 생각합니다. 나카무라 선생님은 1984년 이 세상을 하직하였고 남시균 이사장도 2002년에 돌아가셨지만 그분들이 지금까지 이루어온 업적을 기반으로 그 정신을 계승하여 발전시키는 것이 남겨진 우리들의 사명이라 생각합니다. 우리는 지금까지 태양의 집 여러분이 보여준 따뜻한 우정을 마음속에 간직하며 앞으로도 서로 격려하고 협력하는 사이로서 이세상의 장애인의 행복을 위하여 노력해 나아가고자 합니다.

마지막으로 태양의 집이 장애인복지분야의 파이오니어로서 지금까지 축적해온 경험을 바탕으로 더욱 번영하고 발전해 나아가길 진심으로 축원하면서 축하의 말씀으로 가름하고자 합니다.



創設者

故 中村 裕博士

中村裕(ゆたか)博士は1927(昭和2年)年大分県別府市に生まれ、1951年九州大学医学専門部を卒業後、同大学の整形外科医局に入局しました。故天児民和名誉教授の指導の下、当時未開の分野であった医学的リハビリテーション研究の道を歩み始めました。

さらに、英国のストーク・マンデビル病院に留学し、ルードウィッヒ・グットマン卿の教えを請いました。そこではリハビリテーションにスポーツを取り入れ、医師がさまざまな分野の人と連携して、脊髄損傷者の社会復帰を支援していました。このことに衝撃を受けた博士は、身体障害者の社会参加、特に仕事を通じての自立とスポーツに情熱を注ぐことになりました。博士は、1964年東京パラリンピックの日本選手団長、評論家秋山ちえ子氏や作家の故水上勉氏との出会いなどの数々の経験から、障害者は仕事を持ち自立することが最も必要であるという信念に至りました。そして、「保護より機会」「世に身心障害者はあっても仕事に障害はあり得ない」という理念の下、1965年太陽の家を創設しました。

太陽の家では、オムロン・ソニー・ホンダ・三菱商事・富士通サポートアンドサービス・デンソー等日本を代表する大企業と提携して共同出資会社をつくり、多くの重度障害者を雇用しました。障害者の作業環境の改善や治工具・自助具の導入を進め、障害者の職能開発を行い、手作業からライン作業、単純作業から熟練作業や頭脳労働など多くの成果を上げています。また、別府本部のある別府市亀川を中心に、障害者が一市民として地域と積極的に関わっていくことを目指して、大分県に対して「福祉の街づくり計画」を提唱しました。

身体障害者スポーツにおいては、大分県身体障害者体育協会や日本身体障害者スポーツ協会の設立に参画し、日本で初めて1961年第1回大分県身体障害者体育大会を開催しました。さらに、1975年大分県における第1回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会(フェスピック大会)、1981年の第1回大分国際車いすマラソン大会等を成功に導き、両大会は今日まで引き継がれています。一方、国際障害者リハビリテーション協会の職業委員会委員として1981年第1回国際身体障害者技能競技大会(アビリンピック)や同協会のレジャー・レクリエーション・スポーツ委員長として1984年第1回国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会(レスポ：愛知県)の開催を支援しました。また、医師として博士は大分市に救急医療から医学的リハビリテーションを行う二つの病院を経営しました。1979年～1983年国際パラプレジア医学会副会長、1979年～1980年第14回日本パラプレジア医学会会長を務めました。

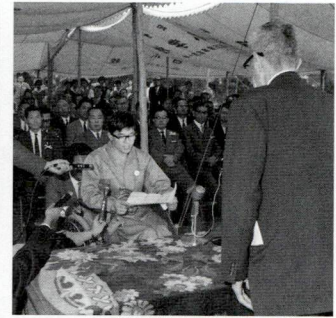
1984年(昭和59年)7月23日、英国ストークマンデビルで国際ストークマンデビル競技大会の開会式がまさに行われようとしていた時、57才の生涯を閉じました。

太陽の家 40年のあゆみ

- 1965 (S40)
- 5.10 (株)別府善意工場の設立計画発表
 - 9.11 別府リハビリテーション設立発起人会
 - 9.28 別府リハビリテーション設立準備委員会
(太陽の家と名称決定：水上勉氏命名)
 - 9.30 小野田セメントと土地建物売買契約を結ぶ
 - 10. 5 太陽の家開所式
義肢装具部、竹工部、金工部、木工部、洋裁部発足
 - 11. 6 第1回全国身体障害者スポーツ大会が
開催される [岐阜県]



▲1965.10 竹工部



▲1965.10 太陽の家開所式

- 1966 (S41)
- 1.中旬 太陽の家東京事務所開設
 - 2. 1 タイムカードを採用
 - 2.14 社会福祉法人として認可される
 - 2.23 アメリカ、グッドウィル社のトレベサン副社長来訪
 - 3. 8 社会福祉法人成立登記完了
 - 4. 1 身体障害者授産施設として指定される
(定員34名)
 - 4.16 自治組織「木の芽会」発足
 - 4.30 アメリカアビリティーズ社ヘンリー・ビスカルディ社長来訪
 - 6. 3 身体障害者授産施設指定通知受領
('66.4.1から定員34名として認可する)
 - 7.28 寮の名前を決定 (九重・鶴見・由布・扇)
 - 7.30 隣接国有地譲渡契約成立 (第1回)
 - 8.20 木の芽会主催第1回納涼大会
 - 9. 3 第1期工事(第1工場・宿舍・食堂・浴場)
落成式
 - 10.14 第2期建設工事落成式(第2作業棟、第3作業棟、プール)
 - 10.18 プール開き
 - 10.22 昭和天皇・皇后両陛下ご視察
 - 11. 6 皇太子ご夫妻ご視察
 - 11. 9 理容室営業開始
 - 12. 1 印刷科発足 (杉本印刷所：印刷作業)



▲1966.10 太陽の家全景 (第1・2期工事完了後)



▲1966.7 九重寮・鶴見寮・由布寮・扇寮



▲1966.10 昭和天皇・皇后両陛下ご視察



▲1966.11 皇太子ご夫妻ご視察

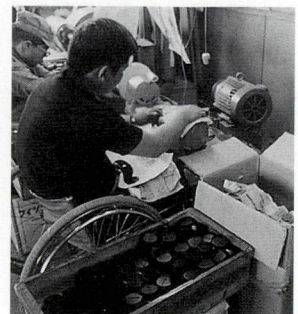


▲1966.12 印刷科発足

- 1967 (S42)
- 1.24 入所定員124名に増加
 - 2.27 西鉄ライオンズ善意野球チャリティー行事開催 [県営球場]
 - 2.28 姫野国夫・船成道代結婚 (結婚第1号)
 - 5.19 木工科 (早川電機(株):やぐらこたつ製造)
クリーニング科 (綿久寝具(株)) 発足
 - 7.18 医務室設置
 - 11. 1 金工科発足 (関西エバーブラック(株):レンズ
キャップ・圧板製造)
 - 12.17 木の芽会主催クリスマスパーティー開催



▲1967.5 木工科発足



▲1967.11 金工科発足

- 1968 (S43) 2.10 第3・4期工事(3階建宿舎・体育館)落成式
 4.1 身体障害者労働研究室開設
 4.25 韓国聖世再活院児童一行来所
 6.1 金工科発足(株)京都器製作所: スチールメジャー組立作業
 6.19 呼吸スイッチによる自動機および環境制御装置試作1号機公開
 9.21 身体障害者雇用促進に貢献したことにより労働大臣より表彰
 10.21 木の芽会主催運動会開催
 11.12 常陸宮ご夫妻ご視察



▲1968.2 第3・4期工事完了後

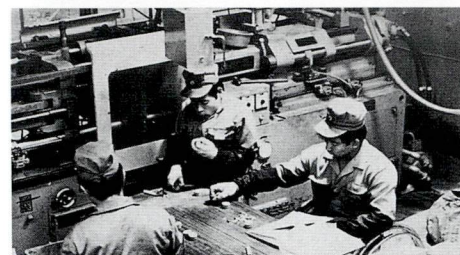
- 1969 (S44) 1.15 川口鉄工(株)、関屋化学(株)他によりプラスチック射出成型機寄贈
 2.20 プラスチック科発足(湯桶、小鉢の成型)
 4.19 隣接国有地譲渡契約成立(第2回)
 7.4 理事長に中村裕、常務理事に畑田和男就任
 7.5 木の芽会主催プール開き
 7.15 国際ストークマンデビル競技大会に太陽の家から初参加
 9.9 電器科発足(ウェストン音機(株): ボイスコイル巻き作業)
 10.1 入所定員154名に増員
 10.2 NHKボックス「太陽の家の記録」出版される



▲1968.4 身体障害者労働研究室開設



▲1968.4 韓国聖世再活院児童一行来訪



▲1969.2 プラスチック科発足

- 1970 (S45) 5.21 心身障害者対策基本法が制定される
 6.2 第2プラスチック科発足(京屋工芸: マネキン製作)
 10.1 金工科発足(株)田島製作所: スチールメジャー製作
 12.4 四肢まひ者用モデルハウス「テトラエース」オープン
 12.21 温泉掘削(100m自噴 180リットル/分 温度51°)

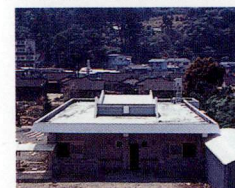


▲1970.10 金工科発足(株)田島製作所

- 1971 (S46) 3.20 公衆浴場「太陽の湯」開設
 4.18 本館(鉄筋6階建)落成
 4.18 医療機器科発足(川澄化学(株): 注射針製造)
 5.3 韓国聖世再園へ親善訪問(11名)
 6.1 重度身体障害者授産施設(定員83名)指定
 8.18 脊損者のプッシュアップのための音楽を流し始める
 8.20 木工科サンアップ発足(サンアップ工芸(株): 神棚製作)
 10.9 秩父宮妃殿下ご視察
 10.16 身体障害者機能開発センター増築完工
 10.16 元韓国王妃、李方子氏ご視察
 12.1 木工科発足(伏野唐木(株): 高級紫檀家具製作) 電機科発足



▲1970.12 四肢まひ者モデルハウス「テトラエース」オープン



▲1971.3 公衆浴場太陽の湯開設



▲1971.4 本館(鉄筋6階建)落成



▲1971.4 医療機器科発足



▲1971.8 木工科サンアップ発足

1972
(S47)

- 2. 5 **身体障害者介護人派遣制度が創設される**
オムロン太陽電機株式会社設立
(1990.1.1オムロン太陽(株)に社名変更)
- 4. 1 身体障害者福祉工場およびオムロン太陽電機(株)創業
- 4. 1 応用資材科発足(オムロン太陽(株):電子部品組立)
- 5. 1 工芸科木工発足
- 10. 7 研修センター「憩いの家」落成式



▲1972.2 オムロン太陽電機株式会社設立



▲1972.4 オムロン太陽電機創業

1973
(S48)

- 3. 5 自治親睦組織「むぎの会」発足(木の芽会は発展的解消)
- 7.26 **厚生省社会局「身体障害者福祉モデル都市設置要綱」策定**
- 7.27 別府市が国の福祉モデル都市として指定される
- 7.30 むぎの会「太陽新聞」創刊
- 8.29 杵築市塩屋崎に土地約5万9千平方メートル購入
- 9. 8 オーストラリア・センターインダストリーズのマクレオード理事長来訪、講演会開催
- 10. 1 園芸科発足(みかん園・構内庭園管理)
- 11.10 第1回文化祭実施 展示会(書・華道、フラワーデザイン)、映画会、バザー等を行う
- 11.11 「ハンディキャップべっぷガイド」発行(太陽の家関係者を主メンバーとする福祉都市を促進する会が編集)
- 12.24 全従業員が拠金して児童養護施設栄光園へすべり台寄贈



▲憩いの家での結婚式



▲1972.10 研修センター憩いの家開設



▲1973.10 園芸科発足



▲1973.7 ハンディキャップ別府ガイド発行

1974
(S49)

- 重度身体障害者用自動車改造費助成制度が創設される**
- 2. 4 中国スポーツ視察団一行来所
- 5.29 太陽の家東京事務所、サン・インフォメーションセンター(後の身体障害者自立情報センター)開設
- 6. 1 特機科ソニー発足(ソニー(株):ラジオ組立)
- 9.20 アビリンピック旋盤の部で杉尾良一3位入賞
- 10.17 「フェスピックに発展途上国を参加させる会」発足、街頭募金開始
- 10.21 特産科発足(株)OSK:椎茸包装)
- 12. 2 工芸科つげ発足(有釜我つげ工芸:つげ細工)
- 12.11 韓国聖再園より5名研修開始(1年間)



▲1974.6 特機科ソニー発足



▲1974.10 特産科発足



▲1974.12 工芸科つげ発足



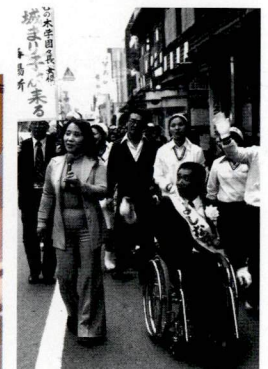
▲1975.1 発明コンクール入賞(レバー式車いす)

1975
(S50)

- 1.23 発明コンクール入賞(レバー式車いす、和室車いす、航空機内ミニチュア)、奨励賞(バック防止式車いす)
- 4.11 中村理事長「吉川英治文化賞」受賞
- 4.28 企画広報室長吉永栄治が別府市議会議員に初当選
- 5.16 太陽の家前横断歩道に信号機設置(盲人用ミュージックチャイム取付)
- 6. 1 第1回フェスピック大会 選手35名、役員5名参加[大分市・別府市 ~6/3]
- 6. 2 皇太子ご夫妻ご視察
- 6. 2 工作科発足(電動車いす製造)
- 7. 1 太陽二平株式会社を設立
- 10. 5 創立10周年記念式典実施
- 10.17 特機科ソニー森伸吉がアビリンピックのラジオ・テレビ修理部門で第2位入賞
- 11.19 中村裕著「太陽の仲間たち」講談社より刊行
- 12. 9 **「障害者の権利宣言」が決議される(国連)**



▲1975.6 工作科発足



▲1975.4 吉永栄治、別府市議会議員に当選

- 1976 (S51)
- 3. 1 県知事他へ福祉システム村構想(サニー・ニュータウン)提出
 - 5.28 身体障害者雇用促進法が一部改正される(雇用率の強化、雇用納付金制度の創設)
 - 6.28 オーストラリア・センターインダストリーズのマクレオド所長講演会
 - 7. 5 大分県福祉の町づくり委員会が開かれる
 - 7. 1 身障者用総合コントロールシステム：リンガダック説明会実施
 - 7. 1 工芸科カナクラ発足(有)金倉弘光堂：仏壇金箔作業)
 - 10. 1 特修科発足
 - 11. 8 スウェーデン・エーテボリ大学のスペン・オルフ・ブラッドゴールド教授講演会
 - 11.24 杵築農園体験実習

- 1977 (S52)
- 5.18 オランダ・アーネムの身障者の町「ヘット・ドルプ」創設者：アリ・クラブワイク博士講演会
 - 8. 1 トンガ王国研修生2名受入れ(～11/9)
 - 9.22 労働衛生週間の行事として、第1回職場対抗バドミントン大会開催(～1989年)
 - 10. 1 電子科TI発足(日本テキサスインスツルメンツ(株)：IC外観検査)
 - 11.13 第2回フェスピックオーストラリア大会応援ツアー(～23日)
 - 11.20 第2回フェスピックオーストラリア大会選手5名、役員2名参加(～11/26)
 - 12. 1 商業科サンスストア発足
 - 12.11 スーパーマーケット「サンスストア」開店
 - 12.17 別府市ロードレース大会車いす部門に9名参加

- 1978 (S53)
- 1.14 障害者住宅整備資金貸付制度が創設される
 - 1.14 株式会社サンインダストリー設立('81.9.「ソニー・太陽(株)」に社名変更)
 - 1.15 第2作業棟落成式「太陽の家讃歌」「一粒の麦」「応援歌」発表
 - 2.23 有限会社タキ商会大分営業所(上野茂所長)が太陽の家内で車いす修理開始
 - 4.27 韓国・太田市聖再園の聖世再活院開院式出席のため訪問旅行23名(～5/1)
 - 6. 1 電機科発足(オムロン太陽(株)：リレー部品組立)
 - 7. 1 精機科発足(ホンダ太陽(株)：スピードメーターの部品組立)
 - 11. 8 三笠宮妃殿下ご視察
 - 12.16 別府市車いすロードレース大会(3km)に3名参加

- 1979 (S54)
- 4. 1 新作業員制度発足
 - 4.15 身体障害者職能開発センター完工
 - 8. 1 プラスチック科杵築作業所発足
 - 9.21 コンピュータ・プログラマーの養成講座開講
 - 10.12 日本障害者職業リハビリテーション研究大会、太陽の家で開催(～13日)



▲1976.7 リンガダック説明会



▲1976.7 工芸科カナクラ発足



▲1977.8 トンガ王国研修生



▲1977.12 スーパーマーケット「サンスストア」開店



▲1977.12 別府市ロードレース大会



▲1978.1 第2作業棟落成式



▲1978.11 三笠宮妃殿下ご視察



▲1978.7 精機科発足



▲1979.4 身体障害者職能開発センター完工



▲1979.8 杵築作業所発足

- 1980 (S55)
- 5.16 身障スポーツ創立20周年記念身体障害者競技大会（～18日）
国際技能競技大会のプレ大会を太陽の家で開催
 - 5.18 「ザ・よっちょいで」コンサート
（永六輔・坂本九ら出演）
 - 6.21 情報処理科発足（三菱商事太陽㈱：プログラミング）
 - 6.24 電動車いす「太陽」初出荷
 - 7. 3 大分銀行太陽の家支店竣工式（コミュニティーセンター1・2階）
 - 7. 9 大分銀行太陽の家支店開店
 - 9.26 厚生省 在宅障害者デイサービス事業創設
 - 11. 3 中村理事長「西日本文化賞」受賞
 - 11. 7 中国武漢市第二病院に車いす1台寄贈
 - 12.25 むぎの会15周年記念写真集発行



▲1980.6 情報処理科発足



▲1980.7 大分銀行太陽の家支店開店



▲1980.6 電動車いす「太陽」初出荷



▲1980.7 大分銀行太陽の家支店開店

- 1981 (S56)
- 国連、国際障害者年（I Y D P）とし、「完全参加と平等」を宣言する**
- 3.21 コミュニティーセンター開設
 - 4. 1 重度身体障害者更生援護施設「ゆたか寮」開所
 - 4.17 応用訓練科発足
 - 4.19 「わたぼうしコンサート」開催
 - 5.26 中村理事長、障害者福祉功労者として「厚生大臣表彰」受賞
 - 8. 3 工作科で八重洲リハビリ㈱の車いす生産開始
 - 9. 1 制御機器科発足（オムロン太陽㈱：リレー部品組立）
 - 9.16 国際アピリンピック出場外国選手研修受入れ（9カ国32名、～10/16）
 - 9.25 ホンダ太陽株式会社設立
 - 9.29 第1作業棟操業開始、落成式
 - 10. 1 三笠宮寛仁殿下ご視察
重度身体障害者授産施設定員増員（145名から175名へ）
 - 10.17 第1回国際アピリンピック開催 51カ国850名参加【東京】
 - 10.30 第1回大分国際車いすマラソン大会前夜祭
「われら人間コンサート」開催
 - 10.31 三笠宮妃殿下ご視察
 - 11. 1 第1回大分国際車いすマラソン大会（14カ国118名参加）
 - 11. 3 中村理事長「大分県功労者表彰」受賞
太陽の家「大分合同新聞文化賞特別功労賞」受賞
 - 12. 9 中村理事長「内閣総理大臣賞」受賞



▲1981.4 重度更生援護施設「ゆたか寮」開所



▲1981.8 工芸科で車いす生産開始



▲1981.10 第1作業棟落成、操業開始



▲1981.11 第1回大分国際車いすマラソン大会

- 1982 (S57)
- 3.23 国際障害者年（メインテーマ・完全参加と平等）「障害者対策に関する長期計画」策定される（総理府）
 - 5.24 明石会研修生受入れ
 - 7.19 韓国車いす楽団「ベテスタ弦楽四重奏団」の演奏会開催
 - 10.30 第3回フェスピック香港大会応援ツアー（～11/2）
 - 10.31 第3回フェスピック香港大会（～11/7）



▲1982.5 明石会研修生受入れ



▲1982.7 韓国ベテスタ弦楽四重奏団演奏会

- 1983 (S58)
- 7. 1 愛知太陽の家建設準備室開設
 - 12. 1 三菱商事太陽株式会社設立

- 1984 (S59)
- 1.27 中村理事長「朝日社会福祉賞」受賞
 - 3.30 デンソー太陽株式会社設立
 - 4.1 愛知太陽の家開所 身体障害者福祉工場開設
電装科発足(デンソー太陽(株):自動車部品製造)
 - 4.4 中国武漢市へ車いすスポーツ指導
 - 4.20 常陸宮ご夫妻、愛知太陽の家ご視察
 - 4.21 **第1回国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会開催【蒲郡市】**
 - 5.25 中国身障スポーツ視察団(張自覚団長)来訪
視察団にスポーツ用車いす66台寄贈
 - 6.28 オムロン(株)創業者・立石一真氏の胸像除幕式
 - 7.23 創設者・中村裕理事長逝去(57才)
 - 7.26 畑田和男常務理事、理事長に就任
 - 7.28 故中村裕博士告别式
(井深大葬儀委員長 約3千人参列)
 - 8.3 愛知太陽の家むぎの会発足
 - 8.7 **身体障害者福祉法が改正され、身体障害者福祉の理念に関する規程が整備される**
 - 10.3 中曽根康弘総理大臣来訪
 - 12.25 「中村裕先生を偲ぶ」追悼集を作成



▲1984.4 愛知太陽の家開所



▲1984.4 第1回国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会

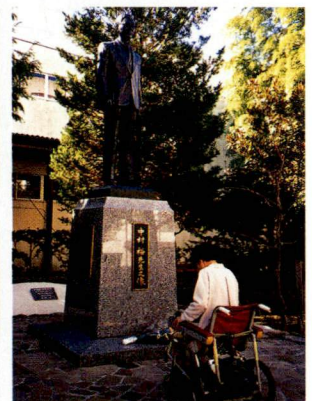
- 1985 (S60)
- 4.1 機材科発足(ホンダ太陽(株):自動車部品組立)
 - 4.15 京都太陽の家研修生受入れ
 - 7.27 第1回愛知太陽の家むぎの会納涼大会
 - 8.19 京都太陽の家建設準備室開設
 - 8.31 創立20周年記念レクリエーションキャンプ大会【住吉浜】
 - 9.30 愛知太陽の家コミュニティセンターに蒲郡信用金庫太陽の家支店・喫茶ふるさと開店
 - 10.5 創立20周年記念式典実施中村裕博士像除幕式
創立20周年を記念して中村裕博士像裏にタイムカプセル埋設(2015年開封)
 - 10.12 愛知太陽の家コミュニティセンター落成式
 - 11.28 永六輔氏一行による演芸会開催



▲1984.7 故中村裕博士告别式



▲1985.4 京都太陽の家研修生受入れ



▲1985.10 中村裕博士像除幕式



▲1985.8 創立20周年記念レクリエーション

- 1986 (S61)
- 4.1 京都太陽の家開所 身体障害者福祉工場開設
制御機器課発足(オムロン京都太陽(株):電子部品組立)
 - 5.6 書籍「すすめ太陽をあびて」(きりぶち輝著)を大分県内の小・中学校に寄贈
 - 8.31 第4回フェスティックインドネシア大会(~9/7)
 - 8.31 第4回フェスティックインドネシア大会応援ツアー(~9/4)
 - 9.12 第2回国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会【オランダ・アーネム】
 - 11.1 故中村裕博士メモリアルセミナー開かれる【大分市】
 - 12.6 第1回日本車椅子ツインバスケットボール大会参加
 - 12.25 京都太陽の家むぎの会発足

京都太陽の家 開所式



▲1986.4 京都太陽の家開所

- 1987 (S62)
- 4.16 財団法人中村裕記念身体障害者福祉財団設立【大分市】
 - 7.1 サン・コミュニティ・大神建設準備室開設
 - 8.1 第1回サマーフェスティバル(京都太陽の家納涼大会)
 - 10.20 京都勤労身体障害者教養文化・体育施設「サン・アビリティーズ京都」落成式



▲1986.11 故中村裕博士メモリアルセミナー開かれる

- 1988 (S63) 3.20 愛知太陽の家工場増築工事落成式
- 4. 1 身体障害者療護施設「ゆうわ」開所
- 6. 1 身体障害者福祉ホーム「大神ハイツ」開所
- 7. 1 太陽の家のシンボルマーク変更
(デザインは大蔵善雄氏)
- 7. 2 サン・コミュニティ・大神開所式
- 10.14 ソウルパラリンピック応援旅行(～10/18)
大分空港よりチャーター便176名参加
- 10.20 太陽の家「大分県知事表彰」
- 10.27 「中村裕伝」発刊記念 水上勉先生講演会

- 1989 (H1) 2. 2 トヨタ自動車株式会社の豊田章一郎社長視察
[愛知]
- 4.11 IBMウェルフェアコンサート [愛知]
- 4.17 愛知太陽の家創立5周年記念式典
- 4.20 太陽の家広報誌「太陽通信」発行
- 4.30 韓国明暉園の李方子理事長逝去
- 7.14 中村裕博士を偲ぶ会 [大分市]
- 7. 8 第5回フェスピック神戸大会聖火採火式
[別府本部玄関前]
- 9.14 第5回フェスピック神戸大会応援ツアー
(～16日)
- 9.15 第5回フェスピック神戸大会 選手9名、
役員2名参加(～20日)
- 10.27 愛知太陽の家創設に尽力された明石六郎氏
逝去(85才)
- 11. 2 常陸宮ご夫妻サン・コミュニティ・大神ご視察
- 11. 2 モデルハウス「年輪」竣工式

- 1990 (H2) 2. 1 有限会社大分タキ(上野茂代表取締役)太陽
の家に設立
- 3.11 韓国より研修生受け入れ[京都]
- 4. 1 身体障害者ショートステイ事業開始[ゆうわ]
- 4. 6 大規模修繕工事完了(別府本部、本館2.5.6階)
- 5.17 韓国聖再園を訪問し、姉妹施設の締結(～20日)
- 5.23 三菱商事株式会社よりコンピューターとソフト
の寄贈 贈呈式開催
- 6.22 福祉八法の改正
(在宅福祉サービスの推進、市町村への一元化
等を主要内容とし平成3年度より施行)
- 7. 3 コミュニティセンターに「蒲郡市立図書館
太陽の家分室」開設 [愛知]
- 7. 7 創立25周年記念「われら人間コンサート」
[大分市コンパルホール]
- 7.10 身体障害者デイサービス事業開始 [ゆうわ]
- 7.26 ADA(障害を持つアメリカ人法)公布
- 9. 5 創立25周年記念むぎの会大運動会
- 10.27 秋篠宮ご夫妻サン・コミュニティ・大神ご視察

- 1991 (H3) 1.12 オムロン株式会社相談役・立石一真氏逝去
(90才)
- 3.15 創立25周年記念パネルディスカッション開催
- 4. 5 機能強化研修棟「サン スポーツセンター」完工
- 4.13 宿泊施設「憩いの家」オープン
- 4.19 京都太陽の家創立5周年記念式典
- 5. 1 福祉ホーム「大神ハイツ」が増築され、定員
30名から60名に増員
- 7. 1 身体障害者通所授産施設開所(定員50名)
- 7. 1 ソニー・太陽株式会社日出工場増設



▲1988.4 身体障害者療護施設「ゆうわ」開所



▲シンボルマーク(旧)



▲1988.6身体障害者福祉ホーム「大神ハイツ」開所



▲1988.7 シンボルマーク(新)



◀1989.7 第5回フェスピック神戸大会聖火採火式



▶1989.11 モデルハウス「年輪」



▲1990.5 韓国聖再園と姉妹施設締結



▲1990.7 創立25周年記念「われら人間コンサート」



▲1990.10 秋篠宮ご夫妻サン・コミュニティ・大神ご視察



▲1991.3 創立25周年記念パネルディスカッション開催

- 1991 (H3)
- 7. 6 新作業棟(第1作業棟)・食堂竣工
 - 8. 4 福祉ホーム、ソニー・太陽株式会社日出工場竣工式
 - 8. 5 本田技研工業株式会社最高顧問本田宗一郎氏逝去(84才)
 - 8.28 オムロン株式会社から京都太陽の家創立5周年を記念してサンルーム「ひまわり」寄贈
 - 9. 1 身体障害者通所授産施設へ知的障害者の相互利用受け入れ開始
 - 9. 6 韓国聖再園交歓会、歓迎レセプション
 - 9. 7 太陽の家創立25周年記念式典、25周年記念ソニー吹奏楽団コンサート
 - 10. 5 むぎの会主催による亀川地区の清掃奉仕活動



▲1991.7 新作業棟(第1作業棟)・食堂竣工

- 1992 (H4)
- 2.17 カンボジアより車いす修理研修生受入れ(～3/30)
 - 4. **ESCAP「アジア太平洋障害者の十年」決議(1993年～2002年)**
 - 4. 6 FJ機器科発足(富士通カスタマエンジニアリング(株): ATMメンテナンス)
 - 5.29 第1回日本車いすスポーツ研究会開催[大分市](’02.1.25 日本障害者スポーツ研究会に改名)
 - 7.17 ホンダアールアンドデー太陽株式会社設立
 - 10.24 ノーベル経済学賞受賞者ワシリー・レオンチエフ教授来訪



▲1991.9 創立25周年記念ソニー吹奏楽団コンサート



▲1992.4 FJ機器科発足



▲1993.3 オムロン株式会社寄贈によるサン・クラブ開設式

- 1993 (H5)
- 3.25 オムロン株式会社寄贈によるサン・クラブ開設式
 - 5. 1 身体障害者通所授産施設分場杵築工場開設
 - 5. 6 **「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」公布**
 - 5. 8 「秋山ちえ子の談話室」1万回感謝のつどい[コミセンホール]
 - 7. 9 「フェスピック大会への参加を支援する会」発起人会及び設立総会[東京]
 - 10. 1 常陸宮ご夫妻、京都太陽の家ご視察
 - 11.30 本館3階宿舍改造工事完了し、鶴見寮居住者が本館移動
 - 12. 3 **「障害者基本法」公布**
(法律名称の改正、障害範囲の明確化、障害者の日を規定、障害者計画の策定等)



▲1993.5 「秋山ちえ子の談話室」1万回感謝のつどい

- 1994 (H6)
- 4. 1 工芸科発足
 - 4.13 愛知太陽の家創立10周年記念式典
 - 6.17 少年マガジン別冊「太陽の仲間たちよ」講談社より発行
 - 6.29 **「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」公布(ハートビル法)**
 - 8. 1 亀の井バスのリフト付き路線バスが運行開始「太陽の家前」のバス停設置
 - 8. 4 皇太子殿下サン・コミュニティ・大神ご視察
 - 9. 3 第6回フェスピック北京大会応援ツアー(～9/7)
 - 9. 4 第6回フェスピック北京大会 選手2名参加(～9/10)
 - 9. 6 畑田理事長がフェスピック連盟会長就任
 - 12. 9 障害者の日「1200人の第九」に参加[京都]
 - 12. **障害者基本法に基づく初めての障害者白書を刊行(厚生省)**



▲1994.4 工芸科発足



▶1994.6 少年マガジン別冊「太陽の仲間たちよ」発行

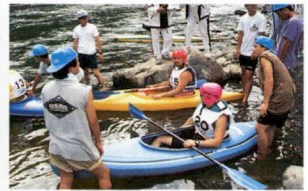


▲1994.8 皇太子殿下サン・コミュニティ・大神ご視察

- 1995 (H7)
- 3. 1 太陽の家創立30周年記念作文募集
 - 4. 3 京都太陽の家に京都中央信用金庫のATM設置
 - 5.25 カンボジアの研修生2名、大分タキで車いす製造研修
 - 6. 7 ホンダ太陽株式会社日出工場、ホンダR&D太陽株式会社竣工式
三笠宮ご夫婦、ホンダ太陽(株)日出工場ご視察
 - 7. 2 別府、愛知、京都各むぎの会で阪神淡路大震災の募金活動
 - 7. 8 高円宮ご夫婦、愛知太陽の家ご視察
 - 8. 5 国内初のパラカヌー大会[大分県犬飼町]に太陽の家から参加
 - 8.21 富士通カスタマ太陽株式会社設立
(*01.7.3 富士通エフサス太陽に改名)
 - 10. 8 太陽の家創立30周年記念式典を別府市内のピーコンプラザで開催
 - 10.27 清子内親王妃殿下、別府本部ご視察
 - 11.22 オムロン太陽(株)会長、オムロン京都太陽(株)会長の立石孝雄氏逝去 (63才)
 - 12. 障害者対策推進本部「障害者プラン(ノーマライゼーション7カ年戦略)」を策定
 - 12. 1 職能開発センター隣接地991平方メートル購入
- 1996 (H8)
- 4.11 京都太陽の家創立10周年記念式典
 - 5.15 韓国の姉妹施設「聖再園」創立30周年記念式典に畑田理事長ら20名が出席
 - 10. 7 公衆浴場太陽の湯改築竣工
 - 10.11 鶴見寮取り壊し
 - 11. 3 畑田理事長「大分合同新聞文化賞」受賞
 - 12. 4 むぎの会主催クリスマスイルミネーションツリー点灯式
- 1997 (H9)
- 2.10 フェスピック車いすバスケットボール講習会
(~11日 タイ・バンコク)
 - 3. 5 オムロン京都太陽株式会社の山本忠明社長逝去 (63才)
 - 3. 8 サンストア移転・新築(大分県福祉のまちづくり条例認定第1号)竣工式、開店特売セール
 - 4.14 造景工事(庭園整備、ロータリー、中庭等)[京都]
 - 7. 1 サンストア跡に電子印刷センターとプラスチック科が移転、工場拡張
 - 7.24 常陸宮ご夫妻、ホンダ太陽(株)日出工場ご視察
 - 8. 1 太陽の家広報誌「太陽通信」100号発行
 - 9.24 ホンダ太陽株式会社の山下猛常務逝去 (49才)
 - 10.18 別府湾ヨットセーリングアドベンチャー
 - 12. 2 サン・コミュニティ・大神でサン・プラザ起工式
 - 12. 9 太陽の家「内閣総理大臣表彰」(障害者関係功労者)
 - 12.15 大規模修繕工事[京都]
 - 12.19 ソニー株式会社創業者、太陽の家家長の井深大氏逝去 (89才)
- 1998 (H10)
- 1.19 太陽の家「1977年度JMA総合マーケティング奨励賞」受賞
 - 1.21 井深大氏お別れ会[東京]
 - 1.31 大規模修繕工事[愛知]
 - 3.31 オムロン京都太陽株式会社、京都太陽の家国際規格ISO14001認証取得
 - 4. 7 京都太陽の家で故山本忠明オムロン京都太陽(株)前社長のメッセージ銘板除幕式



▲1995.7 高円宮ご夫妻、愛知太陽の家ご視察



▲1995.8 国内初のパラカヌー大会参加

社会福祉法人 太陽の家創立30周年記念音楽会



▲1995.10 太陽の家創立30周年記念第九コンサート



▲1995.10 清子内親王妃殿下、別府本部ご視察



▲1996.4 京都太陽の家 創立10周年記念式典



▶1996.10 太陽の湯



▲1997.3 サンストア移転・新築



▲1997.12 ソニー株式会社創業者、太陽の家家長の井深大氏(中央)逝去

- 1998 (H10)
- 4.14 身体障害者療護施設「ゆうわ」創立10周年記念式典、食事会
 - 7.1 障害者法定雇用率が1.6%から1.8%へ
 - 7.14 兵庫県小林氏より大分県ヨット連盟を通じてヨット2艇寄贈
平松知事命名「豊の国元気号」「豊の国勇気号」
 - 7.27 駐日アルゼンチン大使夫人ポリー・フェルマンさんピアノコンサート [サンプラザ]
 - 10.19 皇太子ご夫妻、ホンダ太陽(株)日出工場ご視察

- 1999 (H11)
- 1.9 第7回フェスピックバンコク大会応援ツアー (~1/14)
 - 1.10 第7回フェスピックバンコク大会 (~1/16)
 - 1.29 身体障害者療護施設「ゆうわ」30床増床竣工式
 - 4.1 タイ王国ナロン上院議員来訪 [愛知]
 - 4.3 (株)デンソーがNPO法人「アジア車いす交流センター」を設立、畑田理事長が同センター理事長就任
 - 4.7 デイサービスセンターゆうわ開所式
 - 4.10 書籍「博士の遺言～共に生きるとは～」(大分合同新聞社編) 発売
 - 5.12 タイ労働省ホンサクラ副大臣一行12人視察
 - 5.15 愛知太陽の家創立15周年記念
黒部・立山アルペンルート旅行 (~16日)
 - 6.19 愛知太陽の家創立15周年記念蒲郡プリンスホテル食事会
 - 9.6 大分銀行太陽の家支店に障害者対応のATM設置
 - 10.28 スウェーデンのゴスペル歌手レーナ・マリアさん来訪
 - 11.6 英国ストックマンデビル病院のハンス・フランケル前院長ご夫妻来訪
 - 11.15 故本田宗一郎夫人より新種のチューリップ2種の球根99球寄贈
 - 12.3 「太陽通信」第3回福祉広報誌コンクール(大分合同福祉事業団主催) 優秀賞受賞
 - 12.5 ゆうわの庭園完成

- 2000 (H12)
- 2.27 デンソー太陽株式会社・愛知太陽の家国際規格ISO14001認証取得
 - 3.23 株式会社タジマツールの田島宏一会長逝去 (81才)
 - 3.27 アジア車いす交流センター(WAFCA)の協力によりタイに初の車いす工場完成
 - 4.1 厚生省「介護保険法」施行
 - 4.22 天皇・皇后両陛下、サン・コミュニティ・大神ご視察
 - 4.27 京都太陽の家体育館「重度体育室(プレイルーム)」運用開始
 - 5.17 建設省「高齢者・身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」成立
 - 4.1 太陽の家運営調整委員会設置
 - 6.2 別府市人にやさしいまちづくり整備計画による別府本部の歩道拡幅完了・通り初め式
 - 6.30 太陽の家杵築工場に第2工場完成
 - 7.30 秋篠宮ご夫妻、ホンダ太陽(株)日出工場ご視察
 - 9.1 愛知太陽の家運営調整委員会設置
 - 10.6 太陽の家歴史資料館オープン
 - 10.20 カンボジアのマリー・ラナリット妃殿下・平松守彦大分県知事夫人来訪
 - 11.22 太陽の家別府本部、国際規格ISO14001認証取得



▲1998.7 小林氏よりヨット2艇寄贈



▲1998.10 皇太子ご夫妻、ホンダ太陽日出工場ご視察



▲1999.9 大分銀行太陽の家支店に障害者対応のATM設置



▲1999.4 デイサービスセンターゆうわ開所式



▲1994.4 書籍「博士の遺言」発売



▲2000.4 天皇・皇后両陛下、サン・コミュニティ・大神ご視察



▲2000.10 太陽の家歴史資料館オープン



◀2000.11 太陽の家別府本部、ISO14001認証取得

- 2001 (H13)
- 1. 1 京都太陽の家運営調整委員会設置
 - 1.16 社会福祉法人身体障害者自立情報センターが障害者自立情報センターと改名し、東京から大分に事務所を移転
 - 1.30 福祉工場大規模改修工事終了
 - 2.24 高円宮ご夫妻、京都太陽の家ご視察
 - 3.31 35周年記念資料集「亀川地区の変遷」発行
 - 4. 1 環境科発足（清掃業・環境整備）
 - 4.10 愛知太陽の家ホームページ開設
(<http://www.aichi-taiyonoie.co.jp>)
 - 8.26 第1回大分県障害者技能競技大会、ホンダ太陽(株)日出工場で開催
 - 9. 1 ホンダR&D太陽(株)社員6名、ソーラーカーでオーストラリア大陸横断（～9/10）
 - 10. 6 京都太陽の家創立15周年記念旅行
（～10/7 倉敷）
 - 10.27 第1回全国障害者スポーツ大会、宮城県で開催（～10/29 身体障害者と知的障害者の全国大会を統合）
 - 11.12 第25回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）で情報処理科宮崎健太さん銀メダル
- 2002 (H14)
- 3.31 さくら寮改修工事完了
本館・さくら寮エレベーター耐震強化改修工事完了
 - 4. 1 太陽の家公式ホームページ開設
(<http://www.taiyonoie.or.jp>)
 - 4.29 吉永栄治事務局長「黄綬褒章」受章
 - 5.14 韓国の姉妹施設、聖再園理事長の南認均博士逝去（78才）
 - 7.26 身体障害者療護施設ゆうわ利用者の親睦組織「ひので会」発足
 - 9.10 太陽の家あり方検討委員会発足
（中村太郎委員長 全4回開催）
 - 10.21 第8回フェスピック釜山大会（～11/1）
 - 10.25 第8回フェスピック釜山大会応援ツアー
（～10/28）
 - 11. 3 中村裕記念身体障害者福祉財団の中村廣子理事長、大分県知事表彰
 - 12. 「障害者基本計画」を策定（閣議決定）
- 2003 (H15)
- 2.28 ゆたか寮大規模修繕工事
（トイレ集合化）および浴室拡張工事完了
 - 3.31 「太陽通信集大成版」発行
（創刊号:1989年4月～第167号:2003年3月）
 - 4. 1 支援費制度開始
 - 5. 1 健康増進法施行
 - 6.17 中村太郎理事、副理事長に就任
 - 6.20 国立別府病院所有の土地、譲渡契約締結
（'04.1.19駐車場整備）
 - 7. 1 体育館名称変更
「京都市障害者教養文化・体育会館」[京都]
 - 7. 2 愛知県の神田真秋知事視察 [愛知]
 - 7.18 高円宮久子妃殿下、ホンダ太陽(株)日出工場ご視察
 - 7.31 映画「ウィニング・パス」の撮影が太陽の家で行われる（～8/3）
 - 10. 3 身体障害者療護施設「ゆうわ」創立15周年記念食事会
 - 12. 8 太陽の家あり方検討委員会報告書に「20の提言」をまとめる



▲2001.2 高円宮ご夫妻京都太陽の家ご視察



▲2001.4 環境科発足



◀2001.11 アビリンピックで情報処理科宮崎健太さん(中央)銀メダル



▲2002.4 太陽の家公式ホームページ開設



▲2002.5 聖再園理事長南博士(中央)逝去



▲2002.9 太陽の家あり方検討委員会発足



▲2002.10 フェスピック釜山大会応援ツアー



▲2003.7 映画「ウィニング・パス」の撮影が太陽の家で行われる



▲2003.10 ゆうわ創立15周年記念食事会

2004
(H16)

- 3. 9 大分県の広瀬勝貞知事視察
- 3.31 太陽の家歴史資料館リニューアル
- 4. 1 太陽の家授産場・重度授産場を廃止し、第一授産センター、第二授産センター、第三授産センターに再編成
- 4. 1 福祉用具科発足 (㈫)大分タキ：車いす等のメンテナンス業務)
- 4.17 愛知太陽の家創立20周年メモリアルパーティー開催
- 4.21 太陽の家障害者生活支援センター開所
[日出町]
- 5.23 第18回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会で太陽の家ブレイカーズが初優勝
- 6. 1 **バリアフリーに関する関係閣僚会議「バリアフリー化推進要綱」決定**
- 6.14 別府本部で第1期社会復帰特別コースが開講し、11名の訓練開始
- 6.23 三菱商事太陽株式会社20周年記念パソコン教室開始
- 7.10 中村裕博士没後20年記念レスポシンポジウム開催 [大分市]
- 7.11 中村裕博士没後20年記念会開催 [大分市]
- 7.14 書籍「車いすマラソン～大分から世界へのメッセージ～」(中村太郎編集)発売
- 7.23 中村裕記念身体障害者福祉財団中村廣子理事長より中村裕博士銅像に献花台寄贈
- 9. 8 作家・太陽の家命名者水上勉氏ご逝去 (85才)
- 10. 1 障害者のための職業訓練「モノづくりコース」開講 (～12/24)
- 10.31 **日本障害フォーラム (JDF) 設立**
- 11.30 **厚生労働省より「福祉関係事業者における個人情報の適正な取扱いのためのガイドライン」通知**
- 12.10 JICA (国際協力機構) との間で「マレーシア国への車いす製造技術移転および車いすバスケットボール普及事業」開始
- 12.24 **厚生労働省より「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」通知**

2005
(H17)

- 1.21 ホームヘルプセンターゆうわ開所 [日出町]
- 2. 8 嘱託医の井口竹彦先生「第33回医療功労賞」受賞
- 2.14 ケアプランサービスセンターゆうわ開所
[日出町]
- 3.17 リユースパソコン寄贈プログラム事業を開始
- 3.31 身体障害者通所授産施設分場杵築工場を廃止
- 3.31 簡易住宅「太陽住宅」、雇用・能力開発機構より購入 (80世帯分)
- 4. 1 身体障害者通所授産定員50名から60名に増員 (相互利用15名から20名に増員)
- 4.29 畑田和男理事長「瑞宝小綬章」受賞
- 5.14 韓国聖再園創立40周年記念式典に畑田理事長ら出席
- 9. 7 障害者相談支援センターたいよう開所
- 10. 5 太陽の家創立40周年記念式典



▲2004.3 大分県の広瀬勝貞知事視察



▲2004.4 福祉用具科発足



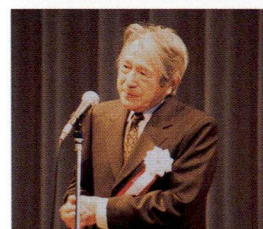
▲2004.4 愛知太陽の家創立20周年メモリアルパーティー開催



▲2004.5 日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会でブレイカーズ初優勝



▲2004.7 中村裕博士没後20年記念会開催



▲2004.9 作家・太陽の家命名者水上勉氏逝去



▲2004.12 大分タキでの車椅子製造技術研修



▲2005.3 リユースパソコン寄贈プログラム事業を開始



▲2005.5 韓国聖再園創立40周年記念式典



資料編

施設一覽 2005年(平成17年)9月1日現在

法人	設立認可申請：昭和40年11月1日 法人登録日：昭和41年 3月8日	認可日：昭和41年2月14日 (厚生省社 第25号)
----	---------------------------------------	----------------------------

第一種社会福祉事業

事業所	施設名	施設種類	事業開始日	当初定員	現定員	備 考
別府	太陽の家授産場	身体障害者授産施設	昭和41年4月1日	34名	—	定員の変更 昭和41年12月 1日 34名→124名 昭和44年 9月25日 124名→154名 昭和47年10月 1日 154名→130名 昭和54年 4月 1日 130名→110名 通所の併設 昭和57年 4月 1日 定員25名 通所の併設の廃止 平成 3年 6月30日 施設の廃止 平成16年 3月31日
	太陽の家重度授産場	重度身体障害者授産施設	昭和46年6月1日	83名	—	定員の変更 昭和47年10月 1日付 83名→110名 昭和54年 4月 1日付 110名→145名 昭和56年10月 1日付 145名→175名 通所の併設 昭和57年 4月 1日 定員15名 通所の併設の廃止 平成 3年 6月30日 施設の廃止 平成16年 3月31日
	太陽の家通所授産場	身体障害者通所授産施設	平成3年7月1日	50名	60名	分場の開設 平成 5年 5月 1日 定員10名 分場の廃止 平成17年 3月31日 相互利用定員の変更 平成 5年11月16日付承認 7人 平成 6年 3月25日付承認 9人 平成 7年 1月24日付承認 15人 平成17年 3月11日付承認 20人 定員の変更 平成17年 4月 1日付 50名→60名
	太陽の家第一授産センター	身体障害者入所授産施設	平成16年4月1日	90名	90名	
	太陽の家第二授産センター	身体障害者入所授産施設	平成16年4月1日	90名	90名	
	太陽の家第三授産センター	身体障害者入所授産施設	平成16年4月1日	105名	105名	
	ゆたか寮	肢体不自由者更生施設	昭和56年4月1日	50名	50名	
	太陽の家福祉工場	身体障害者福祉工場	昭和47年4月1日	50名	50名	
	ゆうわ	身体障害者療護施設	昭和63年4月1日	50名	80名	定員の変更 平成11年4月1日 50名→80名
	大神ハイツA・B・C	身体障害者福祉ホーム	昭和63年6月1日	30名	60名	定員の変更 平成 3年4月1日 大神ハイツC 10名→24名 平成 3年6月1日 大神ハイツA 10名→20名 大神ハイツB 10名→16名
愛知	愛知太陽の家蒲郡授産場	身体障害者入所授産施設	昭和59年4月1日	50名	50名	
	愛知太陽の家福祉工場	身体障害者福祉工場	昭和59年4月1日	100名	100名	
京都	京都太陽の家授産場	身体障害者入所授産施設	昭和61年4月1日	50名	50名	
	京都太陽の家福祉工場	身体障害者福祉工場	昭和61年4月1日	100名	100名	

第二種社会福祉事業

事業の種類	名 称	事業開始日
宿泊所憩の家の設置経営	憩いの家	昭和40年10月 5日
簡易住宅の設置経営	太陽住宅	平成17年 4月 1日
身体障害者相談支援事業	太陽の家障害者生活支援センター	平成16年 4月 1日
知的障害者相談支援事業	障害者相談支援センターたいよう	平成17年 9月 7日
身体障害者デイサービス事業	デイサービスセンター ゆうわ	平成 2年 7月 1日
身体障害者短期入所事業	ゆうわ	昭和63年 4月 1日
身体障害者居宅介護等事業(支援費) 知的障害者居宅介護等事業(支援費) 居宅サービス事業(訪問介護)(介護保険)	ホームヘルプセンターゆうわ	平成17年 1月 1日
居宅介護支援事業(介護保険)	ケアプランサービスセンターゆうわ	平成17年 2月14日

現在の役員

(平成17年9月1日 現在)

役職	氏名	就任年月日	役職	氏名	就任年月日
理事長	畑田 和男	昭和43年3月8日 理事 昭和44年7月4日 常務理事 昭和59年7月26日 理事長	評議員	秋山 ちえ子	昭和41年3月8日
副理事長	中村 太郎	平成10年3月9日 理事 平成15年6月17日 副理事長		畑田 和男	昭和41年3月8日
理事	吉松 時義	平成19年3月9日 理事 昭和56年2月1日		井口 竹彦	昭和51年3月9日
	向井 一正	平成2年3月9日		吉永 栄治	昭和52.3.18~平成4.5.31 平成9年5月24日
	小島 克輝	平成6年3月9日		長田 博行	昭和55年3月9日
	林 栄一	平成6年3月9日		佐竹 孝之	昭和61年3月9日
	中根 功	平成8年5月28日		江藤 秀信	昭和62年5月25日
	平野 之夫	平成11年5月21日		中村 太郎	平成2.3.9~平成10.3.8 平成15年4月1日
	高橋 靖周	平成12年3月9日		上野 茂	平成2年3月9日
	渡邊 正光	平成12年3月9日		杉本 邦弘	平成2年3月9日
	森野 泰一	平成14年3月9日		横田 繁夫	平成2.3.9~平成9.5.23 平成10年3月9日
	佐藤 永治	平成15年4月1日		河野 利之	平成4年3月9日
監事	秦野 晃郎	昭和57年3月9日		下谷 脩子	平成4年3月9日
	小野 進一郎	平成12年3月9日		児玉 洋子	平成8年3月9日
				岩間 秀和	平成8.7.1~平成12.5.18 平成13年6月1日
				中村 英次郎	平成12年3月9日
				堀 高志	平成12年3月9日
				中尾 啓二	平成14年4月1日
				佐藤 永治	平成15年4月1日
				小野 治良	平成15年4月1日
			後藤 博史	平成16年3月9日	
			広渡 徳幸	平成16年3月9日	
			中村 英助	平成16年4月1日	
			首藤 廣行	平成16年6月1日	
			千葉 英雄	平成17年4月1日	
			呉藤 秀昭	平成17年7月2日	

歴代役員

(平成17年9月1日 現在)

役職	氏名	就任年月日	役職	氏名	就任年月日
会長	井 深 大	昭和48年7月5日～ 平成9年12月19日	理事	村 上 博 之	昭和50年9月1日～ 昭和54年9月18日
顧問	高 安 慎 一	昭和43年3月8日～ 昭和48年3月24日		宮 野 茂 博	昭和55年3月9日～ 昭和56年5月31日
	松 田 亘 次	昭和43年10月15日～ 昭和45年11月16日		吉 村 益 次	昭和57年3月9日～ 昭和61年3月8日
	早 川 徳 次	昭和42年5月18日～ 昭和55年6月24日		明 石 六 郎	昭和58年1月21日～ 平成元年10月27日
	本 田 宗一郎	昭和53年10月16日～ 平成3年8月5日		小 尾 知 愛	昭和59年3月9日～ 昭和63年3月31日
	立 木 勝	昭和54年6月1日～ 昭和62年4月13日		大 西 利 勝	昭和59年3月9日～ 昭和61年3月8日
	水 上 勉	昭和61年3月9日～ 平成16年9月8日		谷 岡 豊 次	昭和61年3月9日～ 昭和61年11月22日
	吉 村 益 次	昭和61年3月9日～ 平成11年8月7日		飯 倉 大八郎	昭和63年3月9日～ 平成2年3月31日
技術顧問	森 政 弘	昭和49年3月8日～ 昭和63年5月22日		大 竹 重 雄	昭和63年5月23日～ 昭和63年12月9日
理事長	高 安 慎 一	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日		佐 竹 孝 之	平成2年3月9日～ 平成4年11月30日
	中 村 裕	昭和41年3月8日 日常務理事 昭和43.3.8～昭和59.7.23		福 島 親比古	昭和59年3月9日～ 平成12年3月8日
理事	水 上 勉	昭和41年3月8日～ 昭和61年3月8日		中 村 廣 子	昭和59年7月26日～ 平成10年3月8日
	黒 木 利 克	昭和41年3月8日～ 昭和47年3月7日		清 水 芳 信	昭和61年3月9日～ 平成11年5月20日
	伊 勢 久 信	昭和41年3月8日～ 昭和43年10月1日		三 嶋 直 介	昭和61年11月22日～ 平成8年3月8日
	山 本 清 人	昭和41年3月8日～ 昭和59年3月8日	水 藤 勇	平成元年3月3日～ 平成8年3月8日	
	羽 田 野 次 郎	昭和41年3月8日～ 昭和42年8月31日	日 下 照 雄	平成2年3月9日～ 平成8年5月27日	
	工 藤 秀 明	昭和41年3月8日～ 昭和41年5月 日	横 田 繁 夫	平成2年4月1日～ 平成10年3月8日	
	菅 誠 義	昭和41年9月12日～ 昭和43年3月7日	山 本 哲 司	平成8年3月9日～ 平成12年3月8日	
	日 高 市 蔵	昭和42年1月12日～ 昭和56年9月4日	谷 勝 利	平成8年3月26日～ 平成14年3月8日	
	菊 池 次 郎	昭和42年1月12日～ 平成6年1月6日	吉 永 栄 治	平成10年3月9日～ 平成15年3月31日	
	松 本 平 逸	昭和42年11月15日～ 昭和55年6月1日	監事	堀 七 衛	昭和41年3月8日～ 昭和50年6月2日
	椎 原 ムツヨ	昭和42年11月15日～ 昭和44年7月31日		橋 本 和 子	昭和41年3月8日～ 昭和42年5月16日
	廣 瀬 重 信	昭和43年10月1日～ 昭和46年3月31日		児 玉 宗 忠	昭和42年11月15日～ 昭和57年3月8日
	森 政 弘	昭和43年8月1日～ 昭和49年3月7日		佐 藤 迪 男	昭和50年9月1日～ 昭和53年5月24日
	河 村 友 吉	昭和44年9月1日～ 昭和59年3月8日		後 藤 孔 明	昭和53年5月31日～ 昭和59年3月8日
	後 藤 孔 明	昭和46.4.1～昭和48.4.19 昭和59.3.9～平成16.3.31		林 栄 一	昭和59年3月9日～ 平成6年3月8日
	水 迫 幸 平	昭和48年4月1日～ 昭和57年3月8日		陣 征一郎	平成6年3月9日～ 平成8年7月31日
	渡 辺 英 一	昭和48年4月18日～ 昭和50年8月31日		廣 岩 征 雄	平成8年8月1日～ 平成10年9月30日
	鍋 島 敏	昭和49年3月8日～ 昭和59年3月8日		田 染 哲 司	平成10年10月1日～ 平成12年3月8日

役職	氏名	就任年月日	役職	氏名	就任年月日
運営委員	畔上 てる子	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日	評議員	中村 裕	昭和43年3月8日～ 昭和47年3月7日
	衛藤 知一	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		山本 清人	昭和43年3月8日～ 昭和59年3月8日
	大蔵 善雄	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		成田 三吉郎	昭和43年3月8日～ 昭和49年3月7日
	角田 耕一	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		山田 敦子	昭和43年3月8日～ 昭和49年3月7日
	河野 昭五	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		村上 博之	昭和43年3月8日～ 昭和50年8月31日
	ジャスティン・W・ダート	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		稲田 春苗	昭和43年3月8日～ 平成4年3月8日
	調 一興	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		長田 シゲ	昭和43年3月8日～ 昭和54年4月16日
	高橋 隆一	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		相良好 仁	昭和43年3月8日～ 昭和61年3月8日
	富田 忠良	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		羽田野 忠文	昭和43年3月8日～ 昭和59年3月8日
	中村 泰友	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		松延 陽一	昭和43年3月8日～ 昭和47年3月7日
	橋本 祐子	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		河野 友吉	昭和43年3月8日～ 昭和47年3月7日
	畑田 和男	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		渡技 京馬	昭和43年3月8日～ 昭和47年3月7日
	松本 平逸	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		北島 雅治	昭和43年3月8日～ 昭和47年3月7日
	石尾 博一	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		岩男 穎一	昭和47年3月8日～ 昭和51年3月7日
	菊池 次郎	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日		河野 昭五	昭和47年3月8日～ 平成15年3月31日
中村 希代子	昭和41年3月8日～ 昭和42年3月22日	中根 正勝	昭和47年3月8日～ 昭和50年8月31日		
評議員	畔上 てる子	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	吉村 益次	昭和47年3月8日～ 昭和55年3月8日	
	調 一興	昭和41年3月8日～ 昭和52年3月17日	増田 元彦	昭和47年3月8日～ 昭和49年3月7日	
	橋本 祐子	昭和41年3月8日～ 昭和52年3月7日	佐々木 忠重	昭和47年3月8日～ 昭和49年3月7日	
	吉田 嗣義	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	柚木崎 次郎	昭和47年3月8日～ 昭和49年3月7日	
	高橋 隆司	昭和41年3月8日～ 昭和47年3月7日	佐藤 正	昭和47年3月8日～ 昭和61年3月8日	
	糸永 孝夫	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	平岡 弘	昭和47年3月8日～ 昭和51年3月7日	
	松本 平逸	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	水迫 幸平	昭和47年3月8日～ 平成2年3月8日	
	佐成 正	昭和41年3月8日～ 昭和47年3月7日	今村 由男	昭和47年3月8日～ 昭和62年5月25日	
	富田 忠良	昭和41年3月8日～ 昭和45年3月7日	河合 伊六	昭和49年3月8日～ 昭和55年3月8日	
	角田 耕一	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	菊池 宏	昭和49年3月8日～ 昭和55年3月8日	
	伊藤 正喜	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	草原 周司	昭和49年3月8日～ 昭和50年8月31日	
	佐藤 敬次郎	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	後藤 孔明	昭和49年3月8日～ 昭和55年3月8日	
	田村 春夫	昭和41年3月8日～ 昭和43年3月7日	波多野 裕敏	昭和49年3月8日～ 平成4年10月9日	
	牟田 雪義	昭和41年3月8日～ 昭和47年3月7日	山本 喜昭	昭和49年3月8日～ 昭和61年3月8日	

役職	氏名	就任年月日	役職	氏名	就任年月日	
評議員	萩島 秀男	昭和50年9月1日～ 昭和51年8月5日	評議員	竹友 哲夫	平成6年4月1日～ 平成9年3月31日	
	田中 嘉男	昭和50年9月1日～ 昭和53年3月8日		小野 能明	平成8年3月9日～ 平成12年3月8日	
	吉松 時義	昭和50年9月1日～ 昭和61年3月8日		後藤 壽夫	平成8年3月9日～ 平成10年3月8日	
	荒金 進	昭和51年3月9日～ 平成8年3月8日		小石 誠一	平成9年4月1日～ 平成12年6月29日	
	中村 信博	昭和51年3月9日～ 平成16年3月31日		福田 勝	平成9年5月24日～ 平成13年3月31日	
	吉永 栄治	昭和52年3月18日～ 平成4年5月31日		高橋 寛	平成9年5月24日～ 平成14年3月31日	
	染川 通	昭和52年3月18日～ 平成13年3月26日		塩地 喜一	平成10年3月9日～ 平成13年3月31日	
	宮野 茂博	昭和52年3月18日～ 平成10年6月24日		鈴木 利幸	平成10年3月9日～ 平成12年3月8日	
	佐藤 重智	昭和53年3月9日～ 昭和55年3月8日		安部 浩	平成12年3月9日～ 平成13年3月31日	
	安部 ツヤ子	昭和55年3月9日～ 平成8年3月8日		稲葉 隆征	平成12年3月9日～ 平成16年3月8日	
	佐伯 秋介	昭和55年3月9日～ 平成12年3月8日		吉舎 俊隆	平成12年3月9日～ 平成14年6月30日	
	右田 光雄	昭和55年3月9日～ 昭和63年3月8日		藤原 宏包	平成12年5月19日～ 平成13年5月31日	
	山下 猛	昭和56年2月1日～ 平成9年9月24日		工藤 満治	平成12年6月30日～ 平成14年3月31日	
	大田 友規	昭和56年2月1日～ 平成4年3月8日		山田 茂	平成13年3月27日～ 平成16年3月8日	
	中村 廣子	昭和59年7月26日～ 平成2年3月8日		阿部 幸義	平成13年4月1日～ 平成14年3月31日	
	菅沢 泰三	昭和61年11月22日～ 昭和63年3月8日		北地 輝昭	平成13年4月1日～ 平成16年3月31日	
	江藤 道浩	昭和61年11月22日～ 平成元年5月22日		工藤 英治	平成13年4月1日～ 平成15年3月31日	
	岡田 正友	昭和61年3月9日～ 平成2年3月8日		田ノ口 信夫	平成14年4月1日～ 平成17年3月31日	
	神野 有三	平成元年5月22日～ 平成3年5月26日		森 幸一	平成14年4月1日～ 平成17年7月1日	
	飯倉 大八郎	平成2年3月9日～ 平成12年3月8日		上村 昇	平成14年7月1日～ 平成17年3月31日	
	沢田 富雄	平成2年3月9日～ 平成3年3月10日		所長	中村 泰友	昭和40年10月5日～ 昭和41年3月31日
	柳瀬 忠男	平成2年3月9日～ 平成5年3月31日		事務局長	牟田 雪義	昭和40年10月5日～ 昭和41年11月20日
	明石 衛幸	平成2.3.9～平成4.3.31 平成5.4.1～平成9.5.23			林 明次	昭和41年11月21日～ 昭和42年12月30日
	相馬 滋	平成3年3月11日～ 平成4年9月30日			水迫 幸平	昭和43年4月1日～ 昭和47年3月31日
	渡辺 泰望	平成3年5月27日～ 平成6年3月31日			宮野 茂博	昭和47年4月1日～ 昭和55年3月31日
	伊方 博義	平成4年4月1日～ 平成15年3月31日			佐藤 保	昭和55年4月1日～ 昭和61年3月31日
羽田野 勝彦	平成4年6月1日～ 平成6年1月9日	飯倉 大八郎	昭和62年4月1日～ 平成2年3月31日			
西田 実	平成4年10月1日～ 平成5年10月30日	横田 繁夫	平成2年4月1日～ 平成10年3月31日			
横繁 隆夫	平成5年11月1日～ 平成8年6月30日	吉永 栄治	平成10年4月1日～ 平成15年3月31日			
大坪 茂	平成6年3月9日～ 平成8年3月8日	佐藤 永治	平成15年4月1日～			

※S61.4.1～S62.3.31の事務局長は飯倉大八郎が職務代行

以上、敬称は省略させていただきました。

主な補助金

年度	補助先	金額(円)	用途
1965年(S40)	大分県補助金	20,205,000	第一期工事
1966年(S41)	大分県補助金	10,102,500	第一期工事
	お年玉賦課金寄付	2,500,000	プールの建設
	日本自転車振興会補助金	24,565,000	第二、三作業棟の建設
1967年(S42)	日本自転車振興会補助金	18,255,000	桜寮の建設
1968年(S43)	日本自転車振興会補助金	21,510,000	集塵器ほか設備
1969年(S44)	日本船舶振興会補助金	6,000,000	労働研究機器の購入
1970年(S45)	日本自転車振興会補助金	51,000,000	本館建築工事
	清水基金補助金	7,000,000	本館冷房装置
	別府市補助金	9,000,000	浴場の建設
	労働省委託研究	1,000,000	労働機能研究、脊髄ハンドブック
	三菱財団補助金	8,000,000	多用途監視装置等機器の購入
1971年(S46)	大分県補助金	59,499,000	福祉工場の建設
	三菱財団補助金	11,000,000	重度障害者の労働に関する研究
1972年(S47)	大分県補助金	1,500,000	労働研究
	中央競馬補助金	2,500,000	リフト付車いすの研究
	日本船舶振興会補助金	28,560,000	研修センターの建設
1973年(S48)	大分県補助金	2,000,000	労働研究
	日本自転車振興会補助金	9,910,000	射出成型機の購入
	清水基金補助金	5,000,000	桜寮暖房設備
1974年(S49)	大分県補助金	2,200,000	労働研究
	三菱財団補助金	5,500,000	サイベックスマシン他機械の購入
1975年(S50)	通産省委託事業	19,000,000	福祉機械工場モデル開発
	日本自転車振興会補助金	88,720,000	機能強化センター増改築
	日本IBM補助金	2,000,000	補装具などの研究
	大分県補助金	2,000,000	脳性マヒ研究ほか
	厚生省補助金	4,250,000	SIC自助具等展示事業
	丸紅基金補助金	1,250,000	SIC相談事業
1976年(S51)	日本機械工業連合会委託研究	10,000,000	NC機械作業の研究
	大分県補助金	3,000,000	桜寮屋内消火栓設備
	厚生省展示委託事業	4,038,000	SIC自助具等展示事業
	丸紅基金補助金	1,250,000	SIC相談事業
	東京都補助金	1,737,500	SIC相談事業
	身体障害者雇用促進協会委託	1,000,000	作業用椅子の研究
	清水基金補助金	5,000,000	鶴見寮暖房工事

年 度	補 助 先	金 額(円)	用 途
1977年(S52)	身体障害者雇用促進協会委託	5,000,000	職域拡大研究、調査
	三菱財団補助金	10,000,000	リンガダックシステムによる職域拡大研究
1978年(S53)	身体障害者雇用促進協会助成金	50,000,000	職能開発センター建設
	大分県補助金	31,166,000	消防設備事業
	身体障害者雇用促進協会委託	10,000,000	職域拡大研究、開発
1979年(S54)	身体障害者雇用促進協会助成金	50,000,000	職能開発センター建設
	身体障害者雇用促進協会助成金	67,286,000	杵築作業場設置
	大分県補助金	5,000,000	ビデオ教材機器購入
1980年(S55)	日本自転車振興会補助金	172,730,000	ゆたか寮の建設
	別府市補助金	20,000,000	コミセン備品、機器
	三菱財団補助金	4,000,000	コンピュータ関係
1981年(S56)	日本自転車振興会補助金	68,090,000	第二作業棟改築
1983年(S58)	愛知県補助金	798,660,000	愛知太陽の家建設
	蒲郡市補助金	63,000,000	愛知太陽の家建設
1985年(S60)	京都市補助金	800,105,000	京都太陽の家建設
	京都府補助金	433,795,000	京都太陽の家建設
	蒲郡市補助金	25,000,000	知太陽の家コミセン建設
1987年(S62)	大分県補助金	291,667,500	サン・コミュニティ・大神建設
1988年(S63)	大分県補助金	43,832,500	サン・コミュニティ・大神建設
	愛知県共同募金寄付	2,500,000	愛知太陽の家車庫建設
	蒲郡市補助金	1,500,000	顕彰石碑建造
	大分県補助金	262,500	非常通報装置の設置
1989年(H1)	大分県補助金	55,693,696	別府・大規模修繕
	日本船舶振興会補助金	24,900,000	モデルハウスの建設、実験
	大分県補助金	26,285,000	モデルハウスの建設、実験
	大分県補助金	15,000,000	機械設備の近代化
	大分県補助金	10,300,000	スプリンクラーの設置、別府・ゆうわ
1990年(H2)	日本自転車振興会補助金	367,920,000	機能強化研修棟の建設
	大分県補助金	697,481,000	作業棟、食堂棟の建設
	大分県補助金	50,000,000	設備整備
1992年(H4)	大分県補助金	100,559,000	別府・大規模修繕
	大分県補助金	14,904,000	公共下水道工事
	三菱財団補助金	7,000,000	職能評価機器の開発
	中村裕記念身体障害者福祉財団	1,000,000	マラソン練習機の研究
	愛知県共同募金寄付	850,000	愛知、医務室自動ドア工事

年 度	補 助 先	金 額(円)	用 途
1993年(H5)	大分県補助金	107,116,000	別府・大規模修繕
	中央競馬補助金	4,000,000	リフト付車両の購入
	愛知県補助金	796,000	愛知・小規模整備
1994年(H6)	中村裕記念身体障害者福祉財団	1,000,000	言語障害者の発声練習効果の研究
	愛知県補助金	15,128,000	エアコンプレッサー増設
	愛知県補助金	6,643,000	NECオフィスプロセッサ設備
	中央競馬馬主社会福祉財団	3,000,000	公共下水道継ぎ込み工事(愛知)
1995年(H7)	中村裕記念身体障害者福祉財団	800,000	言語障害者の発声練習効果の研究
	地方公共団体補助金	60,000	サラヤ自動手指消毒器1台(愛知)
1996年(H8)	大分県・別府市補助金	20,000,000	太陽の湯改築
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	1,300,000	ハンドドライヤー10台設置(愛知)
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	4,610,000	リフト付福祉車両の購入(京都)
1997年(H9)	地方公共団体補助金	67,637,000	重度授産施設大規模修繕(愛知)
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	10,000,000	ボイラー設備取替2基(愛知)
1998年(H10)	国庫・大分県補助金	199,538,000	療護施設ゆうわ増床
	国庫・大分県補助金	70,700,000	デイサービスセンターゆうわ新設
	市町補助金	5,074,000	
	日本自転車振興会補助金	39,090,000	スプリンクラーの設置(別府)
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	1,700,000	リフト付福祉車両の購入(愛知)
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	2,000,000	公共下水道つなぎ込み工事(京都)
1999年(H11)	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	4,330,000	プールの塗装
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	1,500,000	非常放送設備の更新(愛知)
	愛知県共同募金会	800,000	浴室シャワー水栓22台取り替え
2000年(H12)	国庫・大分県補助金	30,703,000	福祉工場大規模修繕
	別府市補助金	5,117,000	
	日本小型自動車振興会補助事業	20,250,000	リフト付バスの購入
2001年(H13)	車両競技公益資金記念財団助成金	9,310,000	さくら寮の改修
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	2,360,000	エレベーターの改修
	中央競馬馬主社会福祉財団補助金	1,280,000	病院受診用車両の購入(京都)
2002年(H14)	国庫・大分県補助金	60,569,000	ゆたか寮大規模修繕
	別府市補助金	10,095,000	
	国庫・大分県補助金	5,355,000	ゆたか寮拡張
	別府市補助金	892,000	
	日本財団助成金	940,000	
中央競馬馬主社会福祉財団補助金	900,000	病院受診用車両の購入(京都)	
2003年(H15)	三菱財団助成金	2,200,000	介護データ記録システムの開発及び実証実験
	日本自転車振興会補助金	2,445,000	リフト付福祉車両の購入
2004年(H16)	なし		

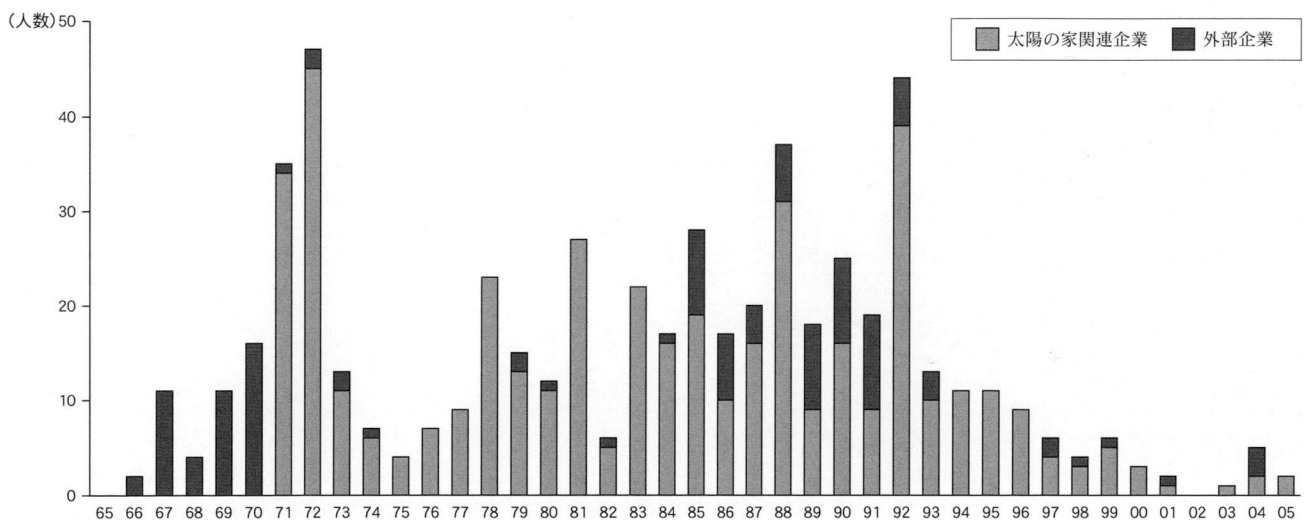
見学者数

年	見学・来訪者数(人)			外国からの見学・来訪者数(人)		
	別府	愛知	京都	別府	愛知	京都
1965年(S40)	不明					
1966年(S41)	不明			6		
1967年(S42)	不明			7		
1968年(S43)	不明			22		
1969年(S44)	不明			7		
1970年(S45)	不明			20		
1971年(S46)	不明			19		
1972年(S47)	不明			16		
1973年(S48)	不明			60		
1974年(S49)	6,454			7		
1975年(S50)	7,898			12		
1976年(S51)	8,200			9		
1977年(S52)	8,544			12		
1978年(S53)	7,565			18		
1979年(S54)	8,975			85		
1980年(S55)	8,738			92		
1981年(S56)	11,053			157		
1982年(S57)	8,413			15		
1983年(S58)	5,769			47		
1984年(S59)	5,785	9,538		112	42	
1985年(S60)	5,443	3,973		269	20	
1986年(S61)	4,553	2,406	5,193	99	5	130
1987年(S62)	5,403	2,149	3,978	97	14	110
1988年(S63)	5,274	2,415	2,681	59	7	44
1989年(H1)	4,302	2,142	2,310	97	2	75
1990年(H2)	4,235	2,211	2,013	144	4	78
1991年(H3)	5,584	1,491	1,942	186	12	155
1992年(H4)	5,067	2,307	1,253	256	10	37
1993年(H5)	7,272	2,139	1,375	165	11	14
1994年(H6)	5,848	1,471	663	212	52	27
1995年(H7)	5,052	1,857	1,375	123	36	39
1996年(H8)	5,272	1,833	1,084	193	27	150
1997年(H9)	4,397	1,578	790	136	25	174
1998年(H10)	3,479	1,679	411	112	27	102
1999年(H11)	4,674	1,336	537	234	59	9
2000年(H12)	4,088	1,360	611	143	24	8
2001年(H13)	4,026	1,351	502	257	47	31
2002年(H14)	4,364	1,707	706	400	21	47
2003年(H15)	4,694	1,548	492	472	47	66
2004年(H16)	4,742	1,473	535	481	45	223

授産施設から社会復帰した人数

2005年(平成17年)9月現在 (人)

年度	別府		愛知		京都		計
	内部	外部	内部	外部	内部	外部	
1965年(S40)							
1966年(S41)		2					2
1967年(S42)		11					11
1968年(S43)		4					4
1969年(S44)		11					11
1970年(S45)		16					16
1971年(S46)	34	1					35
1972年(S47)	45	2					47
1973年(S48)	11	2					13
1974年(S49)	6	1					7
1975年(S50)	4	0					4
1976年(S51)	7	0					7
1977年(S52)	9	0					9
1978年(S53)	23	0					23
1979年(S54)	13	2					15
1980年(S55)	12	1					13
1981年(S56)	27	0					27
1982年(S57)	5	1					6
1983年(S58)	22	0					22
1984年(S59)	5	0	11	1			17
1985年(S60)	12	0	7	9			28
1986年(S61)	4	0	4	7	2		17
1987年(S62)	8	0	4	4	4		20
1988年(S63)	18	0	3	1	10	5	37
1989年(H1)	5	1	3	4	1	4	18
1990年(H2)	11	2	3	6	2	1	25
1991年(H3)	6	3	1	4	2	3	19
1992年(H4)	29	3	8	1	2	1	44
1993年(H5)	8	0	2	2	0	1	13
1994年(H6)	8	0	3	0	0	0	11
1995年(H7)	9	0	2	0	0	0	11
1996年(H8)	7	0	2	0	0	0	9
1997年(H9)	2	2	2	0	0	0	6
1998年(H10)	1	1	2	0	0	0	4
1999年(H11)	2	1	3	0	0	0	6
2000年(H12)	3	0	0	0	0	0	3
2001年(H13)	0	1	1	0	0	0	2
2002年(H14)	0	0	0	0	0	0	0
2003年(H15)	0	0	0	0	1	0	1
2004年(H16)	1	1	1	1	0	1	5
2005年(H17)	2	0	0	0	0	0	2



事業種目の変遷

現存	科目	協力企業	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54					
	竹工科	並松製作所	10	5																		
	義肢科	別府義肢	10	9																		
	縫製科		10	12																		
	木工科		10	12																		
	金工科 プレスハイブイス	菅製作所	10	12																		
○	印刷科	(株)電子印刷センター	4																			
	木工科 シャープ(コタツ)	シャープ(株)	5												1	太陽	7					
	クリーニング科	綿久寝具(株)	5												11							
	金工科 エバー(カメラ商品)	関西エパーブラック(株)		12												10						
	金工科京都度器	京都度器製作所		6		9																
	プラスチック科 第一	(株)TJMデザイン		2																		
	電器科	ウェストン音機(株)		9		5																
	プラスチック科 第二	京屋工芸(マネキン)		6						1												
○	金工科	(株)TJMデザイン		10																		
	医療機器科	川澄化学工業(株)		4						8												
	木工科 神棚	サンアップ工芸(株)		9						4												
	木工科 唐木(高級家具)	伏野唐木(株)		11						4												
	電機科			12						3												
	応用資材科	オムロン太陽(株)		4						9												
◎	福祉工場	"		4																		
	工芸科 木工			5						11												
	工作科 (リハビリテーション機器科)			5						2		6										
	園芸科														10							
	特機科	ソニー・太陽(株)													6							
	特産科	(株)O.S.K													10					9		
	工芸科 つげ	(有)釜我つげ工芸													12							
	工芸科 カナクラ	(有)金倉仏光堂													7							
	特修科														10					9		
○	電子科 T.I	日本テキサスインスツルメンツ(株)													10							
○	商業科 サンストア	(株)トキハイ Industries													12							
○	電機科	オムロン太陽(株)													6							
○	精機科	ホンダ太陽(株)													7							
○	情報処理科	三菱商事太陽(株)																				
	応用訓練科																					
○	制御機器科	オムロン太陽(株)																				
○	電装科(愛知)	デンソー太陽(株)																				
◎	蒲郡福祉工場	"																				
○	機材科	ホンダ太陽(株)																				
○	制御機器課(京都)	オムロン京都太陽(株)																				
◎	京都福祉工場	"																				
○	FJ機器科	富士通カスタマ太陽(株)																				
○	工芸科														3					6		
○	環境科																					
○	福祉用具科	(有)大分タキ																				
	作業所所定内年間作業時間														2235	2220	2130	2070	2070	2070	2070	2070
				'65	'66	'67	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79				

共同出資会社一覧

2005年(平成17年)9月現在

社名	オムロン太陽株式会社 Omron Taiyo Co.,Ltd.	ホンダ太陽株式会社 Honda Sun Co.,Ltd.	三菱商事太陽株式会社 Mitsubishishoji & Sun Co.,Ltd.	富士通エフサス太陽株式会社 FUJITSU FSAS & SUN LTD.
設立	1972.2.4(S47)	1981.9.25(S56)	1983.12.1(S58)	1995.7.3(H7)
資本金	2,000万円	3,000万円	1,000万円	2,000万円
株主構成	オムロン(株) 87.5% 太陽の家 12.5%	本田技研工業(株) 51% 日本精機(株) 5% 東洋電装(株) 5% スタンレー電気(株) 5% (株)ミツバ 5% (株)ホンダロック 5% 太陽の家 24%	三菱商事(株) 67% 太陽の家 33%	富士通サポート 75% アンドサービス(株) 25% 太陽の家 25%
代表取締役社長	江藤 秀信	千葉 英雄	畑田 和男	春原 聡博
社員数 (障害者数) (人)	45 (25)	117 (50)	33 (22)	45 (17)
生產品及び 事業内容	制御機器(デジタルパネル メーター・カードリーダ ー・ソケット等)の製造	二輪・四輪・汎用製品の 部品の製造	コンピュータによる情報 処理の受託 マルチメデ ィア・コンテンツの制作 (ホームページ等)	ATM・プリンタ・パソコ ン等のリペア
所在地	大分県別府市内竈1407-2	別府工場 大分県別府市内竈1399-1 日出工場 大分県速見郡日出町大字 川崎3968	大分県別府市内竈1393-1	大分県別府市内竈1399-1
社名	ソニー・太陽株式会社 Sony / Taiyo Corp.	ホンダールアンドテ-太陽株式会社 Honda R&D Sun Co.,Ltd.	デンソー太陽株式会社 DENSOTAIYO CO.,LTD.	オムロン京都太陽株式会社 Omron Kyoto Taiyo Co., Ltd.
設立	1978.1.14(S53)	1992.7.17(H4)	1984.3.30(S59)	1985.3.6(S60)
資本金	5,000万円	3,000万円	1,500万円	1,500万円
株主構成	ソニー(株) 76.7% 太陽の家 23.3%	(株)本田技術研究所 60% 本田技研工業(株) 25% 太陽の家 15%	(株)デンソー 51% 太陽の家 49%	オムロン(株) 61% 太陽の家 39%
代表取締役社長	長田 博行	千葉 英雄	岡山 国和	北村 満
社員数 (障害者数) (人)	168 (108)	29 (26)	68 (61)	21 (13)
生產品及び 事業内容	マイクロホン・ヘッドホ ン等の製造	CAD設計 輸送用機器、福祉機器の 研究開発	自動車用コンビネーショ ンメーターの組立、関連 部品	電子センサ・ソケット・ 各種電子機器付属品の製 造
所在地	大分県速見郡日出町大字 大神字寒水1402-14	大分県速見郡日出町川崎 3968	愛知県蒲郡市形原町北浜 28-1	京都市南区上鳥羽塔ノ森 上河原87

給与・工賃支給実績 (平均月額)

(単位：円)

年	別府 授産場	愛知 授産場	京都 授産場	別府 福祉工場	愛知 福祉工場	京都 福祉工場
1965年(S40)						
1966年(S41)	(3,000)					
1967年(S42)	(6,000)					
1968年(S43)	(12,500)					
1969年(S44)	(14,500)					
1970年(S45)	(17,300)					
1971年(S46)	(19,400)					
1972年(S47)	(21,300)					
1973年(S48)	(25,800)					
1974年(S49)	29,866					
1975年(S50)	30,823			69,399		
1976年(S51)	34,852			71,536		
1977年(S52)	38,344			79,465		
1978年(S53)	36,714			92,206		
1979年(S54)	35,741			95,590		
1980年(S55)	36,464			108,013		
1981年(S56)	37,426			119,264		
1982年(S57)	36,613			124,237		
1983年(S58)	36,949			132,118		
1984年(S59)	38,774	24,027		139,290	101,364	
1985年(S60)	41,197	28,953		157,342	119,859	
1986年(S61)	40,477	29,179	19,519	157,696	122,079	122,520
1987年(S62)	41,542	30,522	25,544	162,216	125,963	138,973
1988年(S63)	42,052	30,962	26,327	166,902	129,240	139,947
1989年(H1)	43,342	31,552	29,832	177,000	124,148	149,772
1990年(H2)	45,533	33,610	30,890	178,477	154,153	166,250
1991年(H3)	46,175	35,165	32,875	180,067	138,201	172,036
1992年(H4)	45,329	36,090	33,958	174,659	145,735	180,791
1993年(H5)	46,083	36,097	36,747	174,690	172,579	187,273
1994年(H6)	42,679	35,835	36,568	178,280	172,611	189,083
1995年(H7)	46,941	37,146	38,275	183,140	176,395	190,225
1996年(H8)	45,059	38,364	39,383	181,806	179,987	195,208
1997年(H9)	44,320	39,675	40,491	163,193	186,074	200,216
1998年(H10)	43,964	41,815	40,966	178,477	187,956	204,391
1999年(H11)	41,530	42,307	40,208	180,721	192,202	200,775
2000年(H12)	42,142	43,466	41,216	173,055	197,251	203,475
2001年(H13)	40,226	43,491	40,658	185,103	196,103	208,158
2002年(H14)	38,031	44,324	38,725	183,469	197,668	201,041
2003年(H15)	34,388	45,362	39,933	171,476	199,656	210,850
2004年(H16)	33,326	45,802	39,966	181,964	202,297	213,125

在籍者数の推移

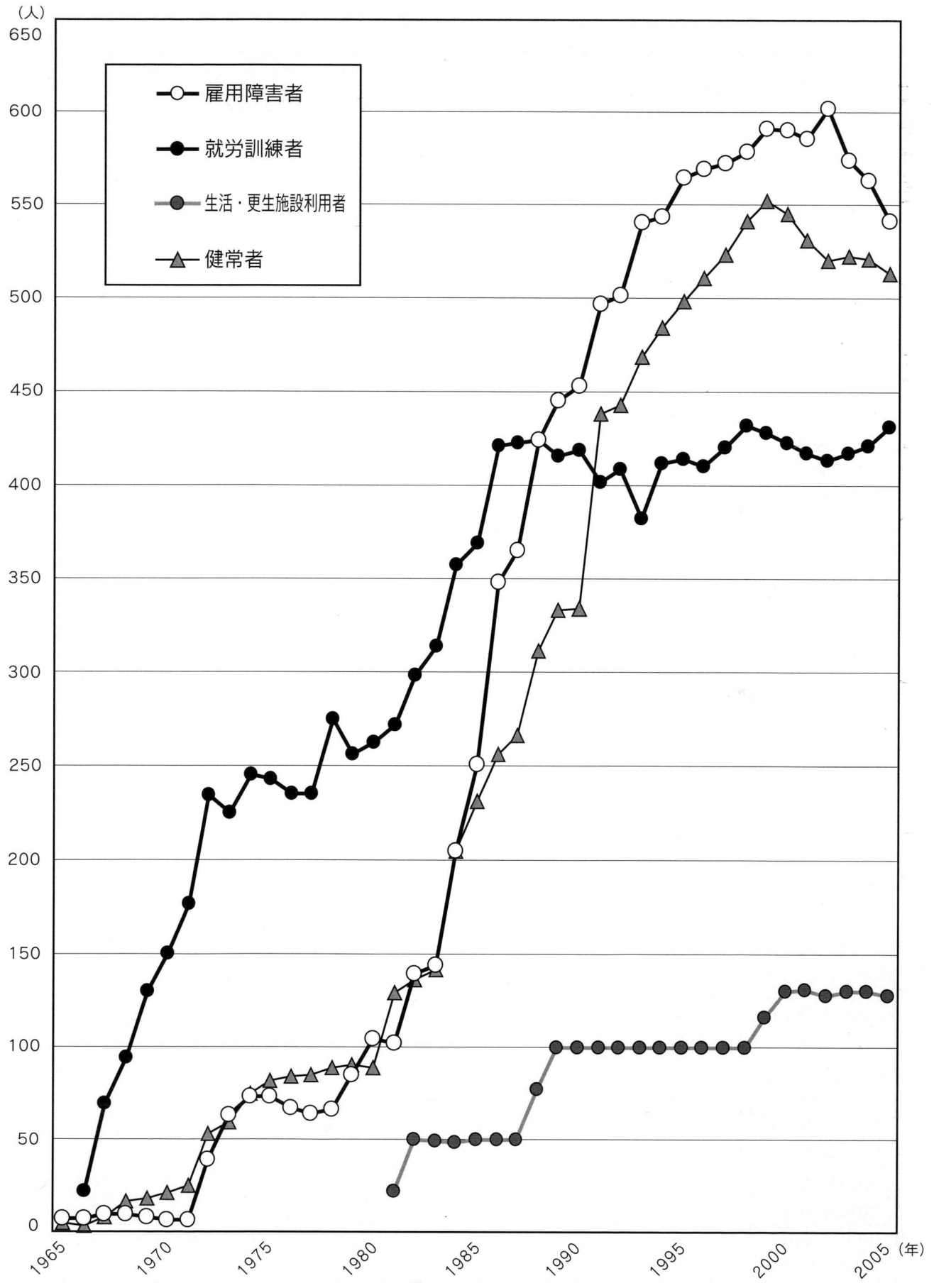
(人)

年度	施設利用者		雇用労働者		合計	事務局 (再掲)					
	就労訓練者	生活・更生施設利用者	障害者	健常者		別府 計(障害者)	愛知 計(障害者)	京都 計(障害者)			
1965年(S40)			7	5	12	12	(7)				
1966年(S41)	22		7	3	32	10	(7)				
1967年(S42)	69		9	8	86	17	(9)				
1968年(S43)	94		9	16	119	25	(9)				
1969年(S44)	130		8	18	156	26	(8)				
1970年(S45)	150		6	21	177	27	(6)				
1971年(S46)	177		6	25	208	30	(6)				
1972年(S47)	234		39	53	326	50	(7)				
1973年(S48)	225		63	59	347	50	(8)				
1974年(S49)	245		73	75	393	56	(8)				
1975年(S50)	243		73	82	398	63	(8)				
1976年(S51)	235		67	84	386	61	(9)				
1977年(S52)	235		64	85	384	62	(8)				
1978年(S53)	275		66	89	430	66	(8)				
1979年(S54)	256		85	90	431	70	(8)				
1980年(S55)	262		104	89	455	74	(9)				
1981年(S56)	272	22	102	129	525	100	(9)				
1982年(S57)	298	50	139	136	623	104	(9)				
1983年(S58)	314	49	144	142	649	110	(11)				
1984年(S59)	357	48	205	205	815	107	(11)	29	(2)		
1985年(S60)	369	50	251	231	901	109	(10)	31	(2)		
1986年(S61)	421	50	348	256	1075	113	(10)	30	(2)	29	(2)
1987年(S62)	423	50	365	266	1104	119	(10)	29	(2)	29	(2)
1988年(S63)	424	77	424	311	1236	141	(11)	29	(2)	26	(1)
1989年(H1)	416	100	445	333	1294	138	(9)	30	(2)	25	(2)
1990年(H2)	419	100	453	334	1306	131	(9)	29	(2)	28	(2)
1991年(H3)	402	100	497	438	1437	138	(7)	29	(2)	33	(2)
1992年(H4)	409	100	501	443	1453	141	(8)	29	(2)	32	(3)
1993年(H5)	382	100	540	469	1491	140	(7)	29	(2)	32	(2)
1994年(H6)	412	100	543	484	1539	138	(8)	29	(2)	33	(2)
1995年(H7)	414	100	564	498	1576	141	(9)	29	(2)	33	(2)
1996年(H8)	410	100	569	511	1590	133	(6)	30	(2)	32	(2)
1997年(H9)	420	100	572	523	1615	145	(13)	30	(2)	31	(3)
1998年(H10)	432	100	578	541	1651	144	(14)	29	(1)	32	(2)
1999年(H11)	428	116	591	552	1687	158	(13)	29	(1)	33	(2)
2000年(H12)	423	130	590	545	1688	160	(12)	29	(1)	33	(2)
2001年(H13)	417	131	585	531	1664	160	(12)	29	(1)	32	(3)
2002年(H14)	413	128	602	520	1663	150	(11)	29	(1)	32	(3)
2003年(H15)	417	130	574	522	1643	148	(7)	28	(3)	30	(2)
2004年(H16)	421	130	563	521	1635	153	(5)	26	(3)	29	(2)
2005年(H17)	431	128	541	513	1613	148	(4)	28	(3)	27	(1)

就労訓練者：授産施設・通所授産施設・通所授産施設分場に属する人

生活・更生施設利用者：療護施設・肢体不自由者更生施設に属する人

在籍者数の推移

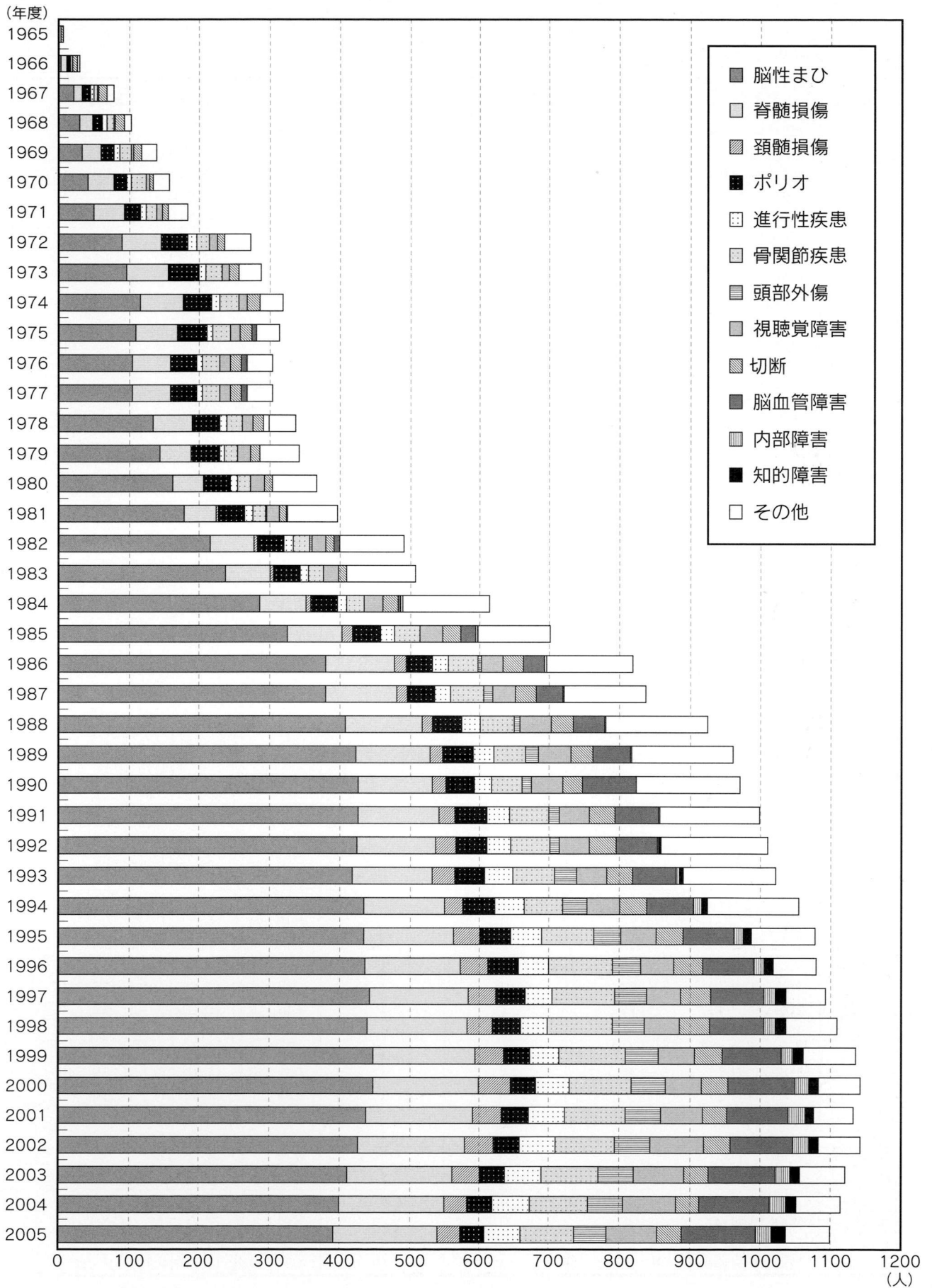


障害者人員推移

(人)

障害分類 年度	脳性まひ	脊髄損傷	頸髄損傷	ポリオ	進行性疾患	骨関節疾患	頭部外傷	視聴覚障害	切断	脳血管障害	内部障害	知的障害	その他	合計	施設利用者	雇用障害者
1965年(S40)	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	7	0	7
1966年(S41)	4	8	0	5	0	2	0	1	7	0	0	0	2	29	29	0
1967年(S42)	21	12	0	11	5	5	0	2	12	0	0	0	10	78	78	0
1968年(S43)	30	18	0	13	6	10	0	3	12	0	0	0	11	103	103	0
1969年(S44)	33	27	0	18	8	16	0	3	13	0	0	0	20	138	138	0
1970年(S45)	42	35	0	18	7	21	0	6	4	0	0	0	23	156	156	0
1971年(S46)	50	42	0	23	8	15	0	9	8	0	0	0	28	183	177	6
1972年(S47)	89	56	0	38	13	18	0	12	10	0	0	0	37	273	234	39
1973年(S48)	96	59	0	44	11	22	0	11	13	0	0	0	32	288	225	63
1974年(S49)	115	62	0	41	11	27	0	12	18	0	0	0	32	318	245	73
1975年(S50)	109	60	0	42	8	26	0	13	16	7	0	0	33	314	243	71
1976年(S51)	104	54	0	39	8	24	0	15	15	8	0	0	37	304	235	69
1977年(S52)	106	51	0	36	8	22	0	16	16	6	0	0	45	306	235	71
1978年(S53)	134	56	0	40	9	21	0	14	13	0	0	0	50	337	275	62
1979年(S54)	144	44	0	42	6	19	0	17	14	0	0	0	55	341	256	85
1980年(S55)	162	44	0	39	10	18	0	19	12	0	0	0	62	366	262	104
1981年(S56)	178	47	3	36	11	19	2	17	10	1	1	0	71	396	294	102
1982年(S57)	216	62	4	39	12	24	3	19	13	7	0	0	91	490	348	142
1983年(S58)	237	64	5	38	11	22	0	21	11	0	0	0	97	506	363	143
1984年(S59)	285	66	7	38	14	24	0	26	22	3	4	0	125	614	405	209
1985年(S60)	325	78	14	40	20	36	0	34	25	23	2	0	104	701	419	282
1986年(S61)	379	98	16	39	22	44	4	32	29	31	2	0	123	819	471	348
1987年(S62)	379	101	15	40	23	48	13	33	30	37	2	0	116	837	473	364
1988年(S63)	408	109	15	43	26	49	9	44	31	45	2	0	144	925	501	424
1989年(H1)	422	107	18	44	29	47	18	47	30	54	1	0	144	961	516	445
1990年(H2)	426	106	20	40	25	45	13	45	28	75	1	0	146	970	519	451
1991年(H3)	426	115	24	45	34	56	15	43	36	61	1	0	143	999	502	497
1992年(H4)	425	111	30	45	35	56	13	42	38	59	1	4	151	1010	509	501
1993年(H5)	417	115	32	43	42	59	31	44	36	61	4	6	132	1022	482	540
1994年(H6)	434	115	27	46	43	55	35	45	39	66	11	9	130	1055	512	543
1995年(H7)	434	129	37	45	45	75	37	49	39	72	14	11	91	1078	514	564
1996年(H8)	435	138	39	45	43	91	39	47	41	73	14	14	60	1079	510	569
1997年(H9)	443	141	40	43	37	90	45	48	43	76	16	14	56	1092	500	592
1998年(H10)	439	144	36	41	38	93	45	49	43	78	15	15	74	1110	532	578
1999年(H11)	447	147	42	38	41	93	47	51	40	84	17	14	74	1135	544	591
2000年(H12)	448	151	46	37	47	88	48	51	38	95	20	14	60	1143	553	590
2001年(H13)	438	153	42	39	51	86	50	59	35	87	24	12	57	1133	548	585
2002年(H14)	426	153	42	38	51	84	50	75	39	89	23	13	60	1143	541	602
2003年(H15)	411	151	38	37	53	81	49	71	35	95	22	14	64	1121	547	574
2004年(H16)	399	150	34	36	55	82	49	75	33	100	24	15	62	1114	551	563
2005年(H17)	391	149	33	34	53	76	47	70	35	106	23	19	64	1100	559	541

障害者人員推移 (障害分類の推移)



大分国際車いすマラソン大会参加状況

■ ハーフマラソン (21.0975km)

大会回数	開催年	参加者数(人)			太陽の家トップランナー
		別府	愛知	京都	
1	1981年(S56)	20	0	0	杉尾 良一 (総合20位 1° 19' 56")
2	1982年(S57)	16	0	0	杉尾 良一 (総合14位 1° 15' 27")
3	1983年(S58)	6	0	0	松本千太郎 (総合13位 1° 26' 40")
4	1984年(S59)	11	0	0	白浜美智男 (総合12位 1° 08' 39")
5	1985年(S60)	7	4	0	白浜美智男 (総合10位 1° 10' 32")
6	1986年(S61)	6	2	0	二木 一巳 (総合23位 1° 09' 48")
7	1987年(S62)	4	4	0	吉川 勇 (総合43位 1° 14' 48")
8	1988年(S63)	4	5	1	近藤 豊 (総合14位 1° 04' 07")
9	1989年(H 1)	3	1	3	二木 一巳 (総合29位 1° 08' 15")
10	1990年(H 2)	3	2	6	浜岡 正昭 (総合97位 1° 15' 39")
11	1991年(H 3)	3	2	6	黒沢 忠己 (総合95位 1° 15' 02")
12	1992年(H 4)	6	2	6	田中 郁宏 (総合83位 1° 05' 38")
13	1993年(H 5)	9	2	4	城 隆志 (総合34位 59' 31")
14	1994年(H 6)	7	2	4	山口 敏喜 (総合56位 1° 06' 8")
15	1995年(H 7)	7	3	7	赤松 政宏 (総合45位 59' 31")
16	1996年(H 8)	12	4	5	矢田 成昭 (総合34位 57' 00")
17	1997年(H 9)	12	5	0	佐藤 裕巳 (総合40位 57' 39")
18	1998年(H10)	13	4	1	大野 修一 (総合13位 52' 54")
19	1999年(H11)	10	5	0	杉尾 良一 (総合57位 1° 01' 34")
20	2000年(H12)	15	3	0	渡辺 習輔 (総合12位 49' 38")
21	2001年(H13)	10	7	0	渡辺 習輔 (総合 1位 45' 01")
22	2002年(H14)	10	6	0	渡辺 習輔 (総合11位 51' 38")
23	2003年(H15)	9	9	0	渡辺 習輔 (総合 1位 44' 01")
24	2004年(H16)	9	5	0	渡辺 習輔 (T53/54 1位 46' 05")

■ フルマラソン (42.195km)

大会回数	開催年	参加者数(人)			太陽の家トップランナー
		別府	愛知	京都	
1	1981年(S56)	レースなし			
2	1982年(S57)	レースなし			
3	1983年(S58)	6	0	0	吉松 時義 (総合 9位 2° 24' 3")
4	1984年(S59)	8	0	0	吉松 時義 (総合15位 2° 14' 50")
5	1985年(S60)	9	0	0	杉尾 良一 (総合23位 2° 20' 25")
6	1986年(S61)	11	0	3	杉尾 良一 (総合23位 2° 14' 28")
7	1987年(S62)	11	1	2	矢田 成昭 (総合25位 2° 12' 46")
8	1988年(S63)	12	0	2	吉松 時義 (総合24位 2° 06' 50")
9	1989年(H 1)	12	1	1	矢田 成昭 (総合26位 1° 55' 05")
10	1990年(H 2)	15	1	1	矢田 成昭 (総合15位 1° 47' 15")
11	1991年(H 3)	14	0	1	矢田 成昭 (総合54位 1° 55' 49")
12	1992年(H 4)	10	1	1	矢田 成昭 (総合94位 1° 52' 30")
13	1993年(H 5)	8	1	1	吉松 時義 (総合98位 2° 04' 18")
14	1994年(H 6)	8	0	1	吉松 時義 (総合49位 1° 59' 29")
15	1995年(H 7)	4	1	1	吉松 時義 (総合62位 1° 59' 40")
16	1996年(H 8)	7	0	1	佐藤 裕巳 (総合73位 1° 49' 53")
17	1997年(H 9)	5	0	1	渡辺 習輔 (総合72位 1° 49' 28")
18	1998年(H10)	6	0	1	二木 一巳 (総合31位 1° 40' 38")
19	1999年(H11)	8	0	1	廣道 純 (総合 7位 1° 31' 55")
20	2000年(H12)	7	0	1	廣道 純 (総合 4位 1° 32' 51")
21	2001年(H13)	5	0	1	廣道 純 (総合 5位 1° 29' 38")
22	2002年(H14)	4	0	1	廣道 純 (総合 3位 1° 30' 20")
23	2003年(H15)	3	0	1	廣道 純 (総合 9位 1° 32' 16")
24	2004年(H16)	1	0	2	吉松 時義 (T53/54 37位 1° 45' 19")

全国障害者スポーツ大会参加状況

	開催年	期 間	開催地	別 府	愛 知	京 都
1	1965年(S40)	11.6~7	岐 阜			
2	1966年(S41)	11.5~6	大 分			
3	1967年(S42)	11.4~5	埼 玉			
4	1968年(S43)	10.12~13	福 井			
5	1969年(S44)	11.8~9	長 崎	吉松 時義・木部 役子		
6	1970年(S45)	10.24~25	岩 手	宮本猪一郎		
7	1971年(S46)	11.6~7	和歌山	江藤 秀信		
8	1972年(S47)	11.11~12	鹿児島	原田のり子 車椅子バスケットクラブ		
9	1973年(S48)	10.27~28	千 葉	車椅子バスケットクラブ		
10	1974年(S49)	11.2~3	茨 城	杉尾良一・渡辺裕一・鬼塚理子		
11	1975年(S50)	11.8~9	三 重	上村 秀行		
12	1976年(S51)	11.6~7	佐 賀	永末 俊雄		
13	1977年(S52)	10.15~16	青 森	矢野 修吉		
14	1978年(S53)	10.23~24	長 野	隅田 晋治		
15	1979年(S54)	10.27~28	宮 崎	河津 英信・永田いつ子		
16	1980年(S55)	10.25~26	栃 木	木本 弘光・佐藤 孝		
17	1981年(S56)	10.24~25	滋 賀			
18	1982年(S57)	10.16~17	島 根	椎 正憲・森崎 一晴		
19	1983年(S58)	10.29~30	群 馬	西村小百合		
20	1984年(S59)	10.27~28	奈 良	岩瀬 昭廣・神崎 一繁		
21	1985年(S60)	11.2~3	鳥 取	藤原 修	村本 潔	
22	1986年(S61)	10.25~26	山 梨	田村 浩司・奈良輪正也	(出場なし)	
23	1987年(S62)	11.14~15	沖 縄	柿木原龍二・河野 敏幸	真田伊都子	
24	1988年(S63)	10.29~30	京 都	立野奈美子・富山 順次 車椅子バスケットクラブ	近藤 岩男	塩月有明・松原和廣・辻川真理
25	1989年(H1)	9.30~10.1	札 幌	佐藤 進・隈元 弘志 車椅子バスケットクラブ	近藤 豊	山本 嘉弘・熊谷 直行
26	1990年(H2)	11.3~4	福 岡	日野 正弘・田中 勝巳 車椅子バスケットクラブ	大楠 寿博	山中萬里・馬場節子・山田敏之 調子貴之・山添一久・畑野泰子
27	1991年(H3)	10.26~27	石 川	北原 友子・車椅子バスケットクラブ 寿福院泰秀・田村 算啓	山田 成児	(出場なし)
28	1992年(H4)	10.17~18	山 形	龍 良彦・嶋 隆之 車椅子バスケットクラブ	小林信作・清水昭雄・安井寿美一	矢野喜一・堀 俊人・西濱達夫
29	1993年(H5)	11.6~7	徳 島	田中 昌彦・松本千太郎	大林 四郎	浜岡正昭
30	1994年(H6)	11.12~13	愛 知	松本 秀樹 車椅子バスケットクラブ	近藤 豊	田中 育宏・山口 良太
31	1995年(H7)	10.28~29	福 島	荒 力・相澤 知文 車椅子バスケットクラブ	加藤 誠	森本 啓文・十九川和弘
32	1996年(H8)	10.26~27	広 島	嶋田 栄作・城 隆志 車椅子バスケットクラブ	山口敏喜・愛甲正利	赤松 政宏・坂 しのぶ
33	1997年(H9)	11.2~3	大 阪	奈良輪正也・池田 正行 車椅子バスケットクラブ	和田 裕・西尾かおり	仲地 延啓
34	1998年(H10)	11.7~8	神奈川	牧野 巧・沢竹 寿一郎	(出場なし)	(出場なし)
35	1999年(H11)	11.6~7	熊 本	前塘由布子・荒 力 釘宮 修二	秋田 修・加藤 裕和	(出場なし)
36	2000年(H12)	10.28~29	富 山	早川 格・宮田 明子	(出場なし)	寺本光良・藤田景子・谷 泰宏
1	2001年(H13)	10.27~29	宮 城	橋爪 優 車椅子バスケットクラブ	松永 育江	藤井 健介・西村 昌展
2	2002年(H14)	11.9~11	高 知	渡辺 久之 車椅子バスケットクラブ	清水昭雄・渋谷太安志・井上直美	青木 武
3	2003年(H15)	11.8~10	静 岡	相澤 知文 車椅子バスケットクラブ	大庭由紀乃	大野 修・高橋 聡
4	2004年(H16)	11.13~15	埼 玉	牧野 巧・宮平 盛男	牧原 勇人	清水 均
5	2005年(H17)	11.5~7	岡 山	清水由美枝・長 孝至 車椅子バスケットクラブ	牧原 勇人	清水 均・岩淵恵太・田中幹人

平成12年までは全国身体障害者スポーツ大会。平成13年以降は全国障害者スポーツ大会

パラリンピック夏季大会参加状況

パラリンピックとは、国際パラリンピック委員会 (IPC フィリップ・クレイヴァン会長 本部：ドイツ・ボン市 1989年創設) が主催する障害者による世界最高峰の競技大会。夏季大会は第1回大会以降、概ねオリンピック開催地で行われ、次の第13回大会は2008年中国北京市で開催される。

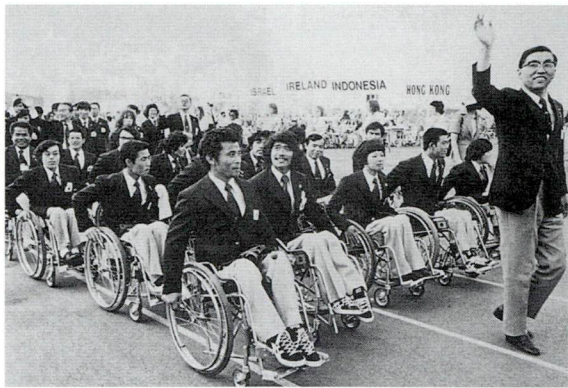
回	開催年	期間	開催地	参加国数	参加者数(人)	参加者
1	1960年 (S35)	9.18~9.25	イタリア(ローマ)	23	400	日本不参加
2	1964年 (S39)	11.8~11.12	日本(東京)	22	390	中村 裕博士 (団長)
3	1968年 (S43)	11.3~11.13	イスラエル(テルアビブ)	29	750	中村 裕理事長 (団長)
4	1972年 (S47)	8.2~8.10	西ドイツ (ハイデルベルグ)	44	1,000	中村 裕理事長 (団長) 田中 慶博 (槍正確投・スラローム) 梅田 幾世 (槍正確投・60m・スラローム)
5	1976年 (S51)	8.3~8.11	カナダ(トロント)	42	1,600	中村 裕理事長 (団長) 杉尾 良一 (スラローム・フェンシング) 槍正確投・車椅子バスケットボール)
6	1980年 (S55)	6.21~7.5	オランダ(アーネム)	42	2,500	中村 裕理事長 (団長) 江藤 秀信 (車椅子バスケットボール) 黒沢 忠巳 (車椅子バスケットボール)
7	1984年 (S59)	7.22~8.1	アメリカ(ニューヨーク) イギリス(ストーク・マンデビル)	42	4,800	西村小百合 (女子車椅子バスケットボール) 高橋 寛 (コーチ)
8	1988年 (S63)	10.15~10.24	大韓民国(ソウル)	61	3,053	椎 正憲 (100m走) 徳永 祐政 (車椅子バスケットボール) 高橋 寛 (コーチ) 小林 順一 (コーチ)
9	1992年 (H4)	9.3~9.14	スペイン(バルセロナ)	82	3,020	徳永 祐政 (車椅子バスケットボール) 高橋 寛 (コーチ) 古手川俊明 (コーチ)
10	1996年 (H8)	8.15~8.25	アメリカ(アトランタ)	103	3,195	坂野 嘉樹 (水 泳) 和田 裕 (ヨット) 高橋 寛 (総 務) 大原 明子 (通 訳)
11	2000年 (H12)	10.18~10.29	オーストラリア(シドニー)	123	3,843	中村 太郎理事 (日本選手団医師) 広道 純 (陸 上) 荒 力 (水 泳) 高橋 寛 (総 務)
12	2004年 (H16)	9.17~28	ギリシャ(アテネ)	136	3,837	中村 太郎副理事長 (日本選手団医師) 荒 力 (水 泳) 畑野 泰子 (車椅子バスケットボール) 仲前 信治 (通 訳)



▲1964年(S39) 第2回 日本(東京)



▲1968年(S43) 第3回 イスラエル(テルアビブ)



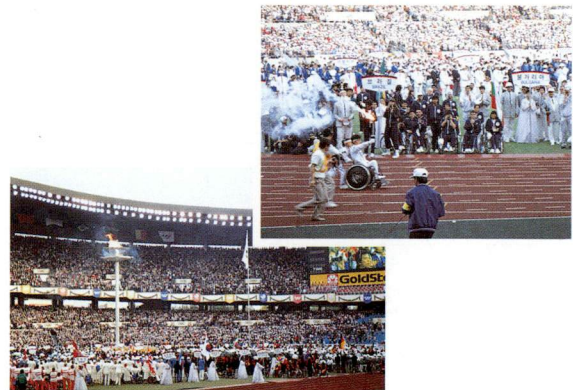
▲1976年(S51) 第5回 カナダ(トロント)



▲1980年(S55) 第6回 オランダ(アーネム)



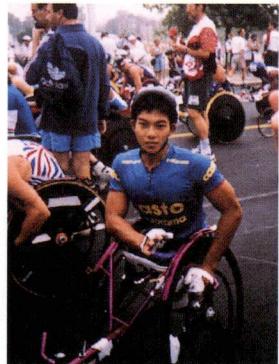
▲1984年(S59) 第7回 イギリス(ストーク・マンデビル)



▲1988年(S63) 第8回 大韓民国(ソウル)



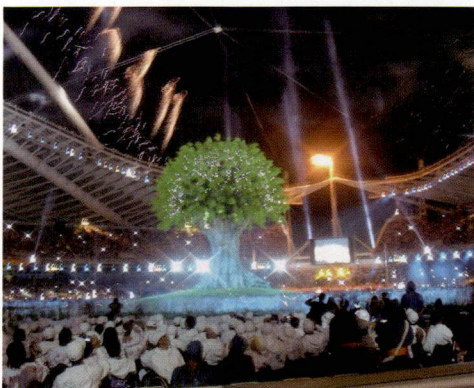
▲1992年(H4) 第9回
スペイン(バルセロナ)



▲1996年(H8) 第10回
アメリカ(アトランタ)



▲2000年(H12) 第11回 オーストラリア(シドニー)



▲2004年(H16) 第12回 ギリシャ(アテネ)



日本選手団壮行会 小泉首相(右から3人目)



畑野選手

フェスピック大会参加状況

回	開催年	期間	開催地	参加国数	参加者数(人)	参加者
1	1975年 (S50)	6.1~6.3	日本(大分市・別府市)	18	973	太陽の家から35名の選手と役員5名が 出場
2	1977年 (S52)	11.20~26	オーストラリア (パラマッタ)	16	430	(団 長)中村裕理事長 (選 手)長田博行・松倉英治・永末俊雄 江藤秀信・宮本猪一郎 (コーチ)高橋 寛
3	1982年 (S57)	10.31~11.7	香港(シャティン)	23	744	(団 長)中村裕理事長 (選 手)中原 清・木本弘光・白浜美智男 (コーチ)高橋 寛・小林順一 (通 訳)後藤敬子
4	1986年 (S61)	8.31~9.7	インドネシア (スラカルタ)	19	834	(選 手)河野敏幸・江川正喜・黒沢忠巳 城 隆志・田中昌彦・吉川 勇 柏木光一 (コーチ)高橋 寛・小林順一・衛藤慶次 (通 訳)平川奈津子 ----- (フェスピック連盟)畑田和男理事長 野尻義孝
5	1989年 (H1)	9.15~20	日本(神戸市)	41	1,646	(選 手)河津英信・矢田成昭・藤原 修 柿木原龍二・嶋隆之・田村浩司 河野敏幸・奈良輪正也・徳永祐政 (コーチ)高橋寛・古手川俊明 ----- (フェスピック連盟)畑田和男理事長 野尻義孝・宮原実乃・平川奈津子
6	1994年 (H6)	9.4~10	中華人民共和国(北京)	42	2,081	(選 手)吉次一哉・奈良輪正也 (選手団医師)中村太郎理事 (コ ー チ)高橋 寛・古手川俊明 ----- (フェスピック連盟)畑田和男理事長 麻生 学・安岡由恵・四ッ谷奈津子
7	1999年 (H11)	1.10~16	タイ(バンコク)	34	2,258	(選手団医師)中村太郎理事 (コーチ)高橋 寛 ----- (フェスピック連盟)畑田和男理事長 麻生 学・安岡由恵・大原明子
8	2002年 (H14)	10.26~11.1	大韓民国(釜山)	40	2,199	(選 手)荒 力・加藤裕和・渡辺習輔 牧野 巧・安井和彦・田村算啓 (コーチ)今吉豊・佐々木利恵 ----- (フェスピック連盟)畑田和男理事長 中村太郎副理事長・麻生 学・仲前信治 岡田承子
9	2006年 (H18)	11.25~12.1	マレーシア(クアラルンプール)			

フェスピック大会とは

アジア・南太平洋の国・地域の障害者スポーツの祭典で、概ね4年に一度開催される。第1回大会は1975年故中村裕博士の提唱によって大分県で開かれた。「フェスピック」という名称は、フェスピック大会の英文名称FESPIC (Far East and South Pacific Games for the Disabled) に由来する。フェスピック連盟には45カ国・地域が加盟し、太陽の家に事務局が置かれ、故中村裕博士や畑田和男理事長が連盟会長等を務めている。純粋な競技大会であるパラリンピックと違い、各国選手の3割は国際大会未経験者とするなど、障害者スポーツの普及を最大の目的としている。2006年第9回フェスピック大会以降はフェスピック連盟と国際パラリンピック委員会 (IPC) の地域組織であるアジアパラリンピック協議会 (APC) が合併する予定で、2010年に開かれる大会は第10回アジアパラリンピック大会 (仮称) となる見込みである。



▲1975年(S50) 第1回 日本(大分市・別府市)



▲1986年(S61) 第4回 インドネシア(スラカルタ)



▲1994年(H6) 第6回 中華人民共和国(北京)



▲1999年(H11) 第7回 タイ(バンコク)



中村裕博士 ▶



▲1977年(S52) 第2回 オーストラリア(パラマッタ)



▲1982年(S57) 第3回 香港(シャティン)



▲1989年(H1) 第5回 日本(神戸市)



◀ 畑田和男フェスピック
連盟会長(中央)



▲2002年(H14) 第8回 大韓民国(釜山)

主な国際スポーツ大会参加状況

開催年	期 間	大会名	開催地	参加者
1969年(S44)	7.19~7.22	第2回国際半身麻痺者競技大会	オーストリア・ウィーン	江藤 秀信・森崎 一晴
	7.22~24	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	江藤 秀信・森崎 一晴
1974年(S49)	7.20~7.27	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	畑田和男常務理事(日本選手団医師)
1978年(S53)	7.23~7.29	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	中村裕理事長(団長)、神田すみ江(フェンシング、スラローム)、高橋寛(コーチ)
1979年(S54)	7.22~7.28	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	畑田和男常務理事(団長兼医師)
	10.13~11.4	香港プレフェスピックゲーム	香港	佐藤保事務局長を団長に車椅子選手7名、役員5名
1983年(S58)	7.24~7.30	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	黒沢 忠巳(車椅子バスケットボール)
	5.20~5.31	車椅子バスケットボール世界選手権	カナダ・ノバコシア州	小林 順一(コーチ)
1984年(S59)	6.17~6.29	'84国際身体障害者スポーツ大会	アメリカ・ニューヨーク	中原 清(クロスカントリー)
1985年(S60)	7.28~8.4	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	矢田 成昭(車椅子バスケットボール)
1986年(S61)	5.31	ゼンバッハ湖一周車いすマラソン	スイス	藤原 修・吉永 栄治(団長)
	7.22~8.9	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	西村小百合(車椅子バスケットボール)
1990年(H2)	7.29~8.5	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	矢田 成昭(陸上)
	7.5~8.11	車椅子バスケットボール世界選手権	ベルギー	徳永 祐政
1992年(H4)	2.13~2.16	オーストラリアオープンテニス	オーストラリア	柿木原龍二
1993年(H5)	8.25~8.30	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	指宿 立(コーチ)
1994年(H6)	4.5~4.19	車椅子バスケットボール世界選手権	イラン	徳永 祐政
1995年(H7)	7.22~7.30	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	堀川 裕二(コーチ)
1998年(H10)	8.20~8.28	国際ストークマンデビル競技大会	イギリス	河原畑 純(ツインバスケット(公開競技)) 今吉 豊(コーチ)
1999年(H11)	9.29~10.10	1999ボッチャワールドカップ	アルゼンチン	佐々木利恵(コーチ)
2002年(H14)	6.18~29	ボッチャ世界選手権	ポルトガル	阿部 宏・堀川 裕二(ランプス介助)
2003年(H15)	10.28~11.7	2003ボッチャワールドカップ	ニュージーランド	佐々木利恵(監督)

むぎの会

1965年に15人で開所した太陽の家は翌年には32人となり、同年4月16日自治組織「木の芽会」が発足した。授産施設として認可された1966年以後は施設利用者と事務局職員によって運営されたが、1972年に福祉工場が創業し、「木の芽会」の有力メンバーが退会した。その後、木の芽会は発展的に解消し、福祉工場従業員、施設利用者、事務局職員が参加して「むぎの会」が発足した。愛知太陽の家、京都太陽の家が開設した後は、それぞれの事業本部でむぎの会が発足した。

それぞれのむぎの会は、太陽の家や協力企業が設置運営する職場または施設に所属する者で組織し、互助・親和の精神を養い、会員の生活の向上と福祉をはかるとともに、障害者にとって住みよい社会をつくるための自主的活動を推進し、その発展と社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

■ あゆみ

年度	月日	内容
1966年(S41)	4月16日	自治組織「木の芽会」発足
	8月20日	木の芽会主催納涼大会
1967年(S42)	12月17日	第1回木の芽会主催クリスマスパーティー
1968年(S43)	10月21日	第1回木の芽会主催運動会
1973年(S48)	3月5日	自治親ほく組織「むぎの会」発足
	7月3日	むぎの会「太陽新聞」創刊
1975年(S50)	8月9日	むぎの会傘下のクラブ主催による第1回納涼大会が開催される
1984年(S59)	8月3日	愛知太陽の家むぎの会発足
1986年(S61)	12月25日	京都太陽の家むぎの会発足
1987年(S62)	8月1日	「'87サマーフェスティバル IN 京都太陽の家」第1回開催（京都）
1991年(H3)	10月5日	第1回亀川地区清掃活動
	13日	亀川小学校グラウンドでむぎの会主催運動会
1992年(H4)	8月1日	亀川夏まつりに屋台を出店
	10月10日	むぎの会運動会に鶴崎中学校の生徒参加（最後の運動会）
	24日	第1回3太陽むぎの会交流会（京都）
1994年(H6)	6月19日	第1回インドアサッカー大会（サンスポーツセンター）
	12月9日	第九コンサート初参加（京都）
1996年(H8)	10月27日	「京都まつり」初参加（京都）
	12月4日	第1回イルミネーションツリー点灯
1997年(H9)	10月12日	第1回むぎの会インドアスポーツ大会開催
1998年(H10)	10月5日	第1回オセロ大会（～7日）
1999年(H11)	9月5日	大分県卓球バレー交流大会（現 大分オープン）実施
2000年(H12)	6月12日	第1回囲碁大会 ～15日
2001年(H13)	12月23日	第1回チャリティーバンド選手権
	10月6日	15周年記念大旅行（京都）
2003年(H15)	3月27日	地域住民やボランティアを招待して「感謝デー」実施（愛知）
	12月17日	映画「ウイニング・パス」試写上映会（以後、別府市・大分市でも上映会を実施）
2005年(H17)	11月14日	むぎの会会長杯争奪ポッチャ第1回大会（京都）
	5月14日	「愛・地球博」見学ツアー（愛知）

■ クラブ・同好会活動

2005年(平成17年)9月1日現在

太陽の家 むぎの会	クラブ	スパーズ(車椅子バスケット)、サンズ(車椅子バスケット)、テニスクラブ、プレイカーズ(車椅子ツインバスケット)、アポロンズ(車椅子ツインバスケット)、ドンキーズ(ローリングバレー)、サンシャイン(卓球バレー)、バーリアスリートクラブ(陸上競技)、フリーダムス(サッカー)、サンチップス(ポッチャ)、サンフィッシュ(カヌー)、FD飛ばし屋本舗(フライングディスク)、カラオケクラブ、詩吟クラブ
	同好会	アーチェリー、バドミントン、電動車椅子サッカー、囲碁将棋、阪神タイガースファンクラブ、映画同好会
愛知太陽の家 むぎの会	ソフトボール、車いす陸上クラブ、スイミングクラブ、ポッチャクラブ、卓球バレークラブ、SUNS(車椅子バスケットボール)、サン・フォトクラブ、カラオケクラブ	
京都太陽の家 むぎの会	卓球バレークラブ、FEDER(車椅子ツインバスケットボール)、京都ピアフレンズ(野球)、SKAC(アーチェリー)、サンチップス京都(ポッチャ)、京都サンダース(ローリングバレー)、京都ピアフレンズ(ソフトボール)、鉄道研究会	

主な研究開発の概要

1	研究名	重度身体障害者のための居住実験（実験住宅テトラエース）		
	期 間	1969年～1970年	助 成	あゆみの箱（376万円）
	協 力	東京大学生産技術研究所・東陶機器(株)・ナショナル住宅建材(株)・フランスベッド(株)		
	概 要	四肢まひ者用実験住宅「テトラエース」の開発および頸髄損傷者による居住実験		
2	研究名	重度身体障害者に関する労働医学的人間工学的研究		
	期 間	1970年	助 成	三菱財団（800万円）
	概 要	障害者に適した生産作業を開拓するための労働医学的、人間工学的研究		
3	研究名	重度身体障害者による電動車いすの製作および製作工場システムの開発研究		
	期 間	1975年	助 成	通産省（2,000万円）
	協 力	ソニー(株)・大分大学工学部		
4	研究名	リングダックシステムによる重度障害者の新しい職業分野の開拓研究		
	期 間	1977年	助 成	三菱財団（1,000万円）
	協 力	大分大学工学部		
5	研究名	コンピュータ利用による重度障害者の適職判定ならびに重度障害者を対象とするコンピュータ要員の養成		
	期 間	1979年	助 成	三菱財団（700万円）
	協 力	大分大学工学部		
6	研究名	身体障害者雇用促進協会職域拡大等研究調査委託研究		
	期 間	1977年～1981年	助 成	身体障害者雇用促進協会（5950万円）
	協 力	国立別府病院・大分大学・ミツワ理化学工業(株)・九州AVセンター		
7	研究名	身体障害者の残存能力強化に関する研究		
	期 間	1987年	助 成	中村裕記念身体障害者福祉財団（200万円）
	概 要	負荷および運動量が定量的に設定・測定できる車いす用ルームランナーの開発		
8	研究名	シルバーハウジング開発研究		
	期 間	1987年～1989年	助 成	厚生省（1億2000万円）
	協 力	大分大学工学部・東陶機器(株)・久留米工業大学工学部・プレック研究所・元田電子工業(株)・ブンゴヤヘルスケア		
9	研究名	高齢身障用モデルハウスの建築		
	期 間	1989年	助 成	日本船舶振興会（2,490万円）・大分県（2,628万5千円）
	協 力	大分大学工学部・(株)竹中工務店		
10	研究名	車いすマラソンのスピード・トレーニング練習機の試作		
	期 間	1992年	助 成	中村裕記念身体障害者福祉財団(100万円)
	概 要	車いすマラソン選手訓練のための高速牽引器の試作および走行実験		
11	研究名	身体障害者の職能評価器具の開発（メカニック検査の標準化）		
	期 間	1992年～1994年	助 成	三菱財団（700万円）
	協 力	大分大学工学部		
12	研究名	介護データ入力処理装置に関する研究開発（平成14年度新事業創出研究開発事業）		
	期 間	2002年	助 成	大分県（540万円）(株)エリアが研究主体)
	協 力	株式会社エリア・大分大学工学部福祉環境工学科・有限会社社会システム総合研究所		
13	研究名	介護データ記録システムの開発および実証実験		
	期 間	2003年	助 成	220万円（第34回三菱財団社会福祉事業研究助成金事業）
	協 力	大分大学工学部福祉環境工学科・株式会社エリア		
	概 要	介護記録収集システムの実機設置およびデータ収集		

「研究紀要」発行

太陽の家身体障害者職能開発センター(1979.4~2003.3)は毎年各種の研究事業を行い、その結果は個別の研究報告書やTADカード(Technical Aids for the Disabled)等で記録・報告してきた。事業部や厚生部等で行われる研究も含め、これらを統一した形式で記録保存し、研究資料や活動記録として共通の財産とし活用するために「研究紀要」を発行した。

番号	発行年度	内 容
No.1	1993年(H5)	(1) 新入所者の状況調査 (2) 精神科デイケアにおける作業訓練について -実践のまとめと結果の考察- (3) 福祉ホーム(増設分)居住者へのアンケート調査 (4) 身体障害者の職能評価器具の開発(メカニック検査の標準化) (5) 頸髄損傷者の住宅研究(プレハブ住宅の新築)
No.2	1994年(H6)	(1) 40歳以上の退所者の分析 (2) 50歳以上の授産在籍者へのアンケート調査 (3) 低床式電動リフトの試作 (4) 浴場に関するアンケート調査 (5) 身体障害者の職能評価器具の開発(メカニック検査の標準化) 第2報
No.3	1995年(H7)	(1) 知的障害者施設での現場実習報告 (2) 亀川地区の居住者調査 (3) 住宅改造事例集
No.4	1998年(H10)	(1) ある在宅障害者夫妻の生活状況 (2) 新入所者経過調査 (3) 障害者の就労と生活設計 -太陽の家33年の経験から- (4) 歩行/移乗動作解析研究 (5) 実生活場面における電動車いすのエネルギー需要評価(大学共同研究) (6) 太陽の家就労者の生活環境に関する研究 大分大学工学部建設工学科 小林 貴代/古賀 泰司 (7) 太陽の家の調査から学んだもの -障害者の自立に関する心理学的研究に参加して- 北九州大学文学部人間関係学科 山内 隆久/河野 賢/谷野 智子/吉田 良 (8) 車いす使用者および歩行不自由者を対象とした「屋外移動に関する調査」報告書 東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科デザイン工学専攻 樽見 晃
No.5	2000年(H12)	(1) 障害者の握力 ~入所面接時の握力測定結果~ (2) 介護記録のデータ処理装置の研究開発(調査研究) (3) 歩行/移乗動作解析研究第2報(大学共同研究) (4) 居住形態別に見た身体障害者の住生活の評価と住宅供給の課題に関する研究 大分大学工学部福祉環境工学科 鴨崎 義人/谷戸美和子 (5) 肢体不自由者の衣生活の現状と問題点に関するアンケート調査 大分大学教育学部人間福祉科学課程 西牟田美紀 (6) 出勤時間に関する職場規範の研究 ~規範の実効性検証の試み~ 北九州大学文学部人間関係学科 三沢 良
No.6	2001年(H13)	(1) 身体計測結果の分析(身長・体重・BMI) (2) オーダー型車いすの形状と身体寸法 (3) 住宅改造事例(浴室改造と電動式昇降機の設置) (4) 障害者の就労を支える地域機能(ある障害者夫妻の事例から) (5) 歩行/移乗動作解析研究第3報 (6) 太陽の家ホームページの企画・製作

編集後記

太陽の家が創設されて40年経ちました。ここにそのあゆみを振り返る時、改めてこれまでの事業やその取り組みの多様さと規模に驚かされました。障害者の自立や雇用などが整備されていなかった時代から、太陽の家はその先駆けとして時代の先端を歩んできました。先輩方、特に障害をもった方々の苦労や苦悩、社会の偏見はさぞかし大変なことだっただろうと推察されます。すべてのあゆみをここに記すことはできませんでしたが、残された資料の中から一つひとつ吟味して掲載しました。そのような作業の中で、編集委員一同が思ったことは、障害をもつ先輩方はその苦難の時代の中にあっても力強く人生を歩んでこられたことです。私たちはそのあゆみを重く受け止めなければいけません。

「歴史を正しく理解しなければ、正しい未来は築けない」と言われるように、太陽の家のこれまでの足跡を振り返り、創立50周年、そしてさらなる未来に向けた新たな飛躍の糧にできたらと思います。

これまで太陽の家を支えてくださった関連企業や協力企業、行政の方々、また地域の多くの皆さま方に心よりお礼を申し上げます。どうぞこれからも太陽の家をあたたく見守ってください。

2005年(平成17年)10月5日

創立40周年記念誌編集委員会

創立40周年記念誌 編集委員会

荒金 精二
衛藤由美子
小田 博道
小島 康則
近藤 豊
佐藤 篤
徳田 構一
服部 直充
四ッ谷奈津子

社会福祉法人 太陽の家
創立40周年記念誌

編集・発行 社会福祉法人 太陽の家
創立40周年記念誌編集委員会
〒874-0011 大分県別府市亀川1393番地
TEL 0977-66-0277 FAX 0977-67-0453
URL <http://www.taiyonoie.or.jp>

発行日 2005(平成17年)10月5日

印刷・製本 (株)電子印刷センター

